

---

クラウドゲートウェイ  
サーバーホスティング  
サービス機能説明書  
第 1.29 版

令和 6 年 2 月  
東日本電信電話株式会社

## 制改定履歴

制改定年月日	版数	主な制改定内容
2017.4.20	1.00	新規作成
2017.4.27	1.01	4.ユーザー向けポータル リソース情報取得依頼シートの取得先を追記
		5.1.問い合わせ窓口 図 5 1 問い合わせ窓口 申告先電話番号、メール問い合わせ先を追記
		5.3.故障発生時の連絡、5.4.メンテナンスの案内 ※1 へ障害箇所による故障通知元を追記
		3.2.5. LGWAN ユーザー向けポータル操作代行 お客様にて構築作業を行う申込手段のメモ追加
2017.5.11	1.02	4.1.利用できる機能 二要素認証は提供しない旨を重要事項に追記
		4.3.ユーザー向けポータルへのログイン URL の記載見直し、補足事項を追記
2017.6.6	1.03	1.2.メニューラインナップ 4.4.チュートリアル 利用不可メニューに関する重要事項を追記
		4.ユーザー向けポータル ユーザーへ払い出す ID の権限についてのメモ追記
		【本書のご利用にあたって】 ・提供していないメニュー申込時の注意事項を追記 ・協定世界時(UTC)を用いた料金計算の注意事項を追記
		3.1.1.5. CPE 設置スペースの提供 NTT 東日本回線の場合の収容機器の制約を追記
2017.6.15	1.04	【本書のご利用にあたって】 4.4.チュートリアル 利用不可メニューに関する重要事項の記載を変更
		1.2.メニューラインナップ 表 1 1 メニューラインナップ Cloud Foundry Virtual Private を追加 利用不可メニューに関する重要事項の記載を変更
		6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法 Cloud Foundry Virtual Private を追加 接続許可に関する補足事項※3 を追記 利用不可メニューに関する重要事項の記載を変更
2017.6.30	1.05	1.2.メニューラインナップ 表 1 1 メニューラインナップ 3.1.1.10.IP-IP トンネリング設定 3.7.ファイアウォール機能

		4.4.チュートリアル 表 4 3 チュートリアル参照先 6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法 ファイアウォールメニューの新規販売停止を追記
2017.7.11	1.06	【本書のご利用にあたって】 誤記訂正
2017.7.14	1.07	【本書のご利用にあたって】 1.2.メニューラインナップ 4.4.チュートリアル 6.1.申込方法 利用不可メニューの追記および記載文変更
		3.1.1.3.サービス提供範囲 図 3 1 ユーザーネットワーク接続におけるサービス提供範囲（フレッツ・VPNワイド以外の場合） 図 3 2 ユーザーネットワーク接続におけるサービス提供範囲（フレッツ・VPNワイドの場合） 3.1.1.9.ルーティング設定 表 3 6 ユーザーネットワーク接続の接続構成要素 図 3 3 ユーザーネットワーク接続構成図（フレッツ・VPNワイド以外の場合） 図 3 4 ユーザーネットワーク接続構成図（フレッツ・VPNワイドの場合）
		3.2.2.サービス提供範囲 図 3 6 LGWAN 接続におけるサービス提供範囲 3.2.3.2.LGWAN 接続ネットワークの提供 図 3 9 IP アドレス接続の構成図 3.2.4.2.トンネリング設定 図 3 10 トンネリング接続の構成図
		3.3.1.2.サービス提供範囲 図 3 10 SINET 接続におけるサービス提供範囲 3.3.1.3.SINET 接続ネットワークの提供 図 3 12 SINET 接続の構成図 機器名称変更に伴う文言変更および追記
		3.1.1.4.ONU 設置スペースの提供 フレッツ VPN ワイド回線のポートリフレッシュに関する注意事項を追記
		5.1.問い合わせ窓口 図 5 1 問い合わせ窓口 メールアドレス変更
2017.8.23	1.08	3.1.1.5.CPE 設置スペースの提供 他社回線利用時条件記載の見直し
		【本書のご利用にあたって】 1.3.メニューラインナップ

		<p>4.4.チュートリアル</p> <p>6.1.申込方法</p> <p>利用不可メニューの記載変更</p>
		<p>3.1.1.9.ルーティング設定 ②ルーティング設計</p> <p>3.2.4.2.トンネリング設定 ③LGWAN 専用 VPN 装置</p> <p>利用不可アドレスに関する注意事項を追記、利用不可アドレス帯を修正</p>
		<p>6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法</p> <p>Arcserve の申込方法をポータルへ変更</p>
		<p>3.1.1.4.ONU 設置スペースの提供</p> <p>5.1.問い合わせ窓口 図 5 1 問い合わせ窓口</p> <p>受付窓口の電話番号、メールアドレスの記載を削除</p>
2017.10.26	1.09	<p>3.1.1.5. CPE 設置スペースの提供</p> <p>CPE および ONU のサイズ、従量、電力を記載</p> <p>他社回線持込時の条件を追記</p>
		<p>3.1.1.10. IP-IP トンネリング設定</p> <p>SPOF に関する記載を詳細化</p>
		<p>1.2.メニューラインナップ</p> <p>2.1.IaaS 機能提供メニュー</p> <p>4.4.チュートリアル</p> <p>6.1.申込方法</p> <p>WebRTC Platform SkyWay メニューを追加</p>
		<p>3.1.1.2.利用できる機能 表 3 2 ユーザーネットワーク接続で利用可能な機能</p> <p>3.1.1.3.サービス提供範囲 図 3 3 ユーザーネットワーク接続におけるサービス提供範囲（ハウジング接続の場合）</p> <p>3.1.1.5.CPE 設置スペースの提供</p> <p>3.1.1.6.ハウジング接続</p> <p>ハウジング接続機能提供に伴う、追記、修正</p>
		<p>【本書のご利用にあたって】</p> <p>1.2.メニューラインナップ</p> <p>4.4.チュートリアル</p> <p>6.1.申込方法</p> <p>利用不可メニューの追記</p>
		<p>3.1.1.8.VLAN 設定</p> <p>誤記訂正</p>
		<p>1.2.メニューラインナップ</p> <p>2.1.IaaS 機能提供メニュー</p> <p>4.4.チュートリアル</p> <p>6.1.申込方法</p>

		Rancher (Docker コンテナ管理)メニューを追加
2017.11.20	1.10	3.2.LGWAN 接続機能 本サービスとして許容しない利用方法を重要事項として追記
2018.6.11	1.11	3.5.テナント間接続機能 4.4.チュートリアル テナント間接続メニューの参照先へ「Enterprise Cloud 2.0 接続 (ネットワーク共有タイプ)」のリンクを追加 補足説明を追加
		3.2.4.1.利用できる機能 重要欄 トンネリング接続の複数申込不可の記載を削除 トンネル接続での LGWAN グローバル IP アドレスの利用条件の記載を変更
		3.2.4.3.提供単位 表 3-20 トンネリング接続メニューの提供単位を追加 従来の表 3-20 の表題を修正し、表 3-21 に変更
2018.7.5	1.12	3.2.6.ポータル操作代行におけるバックアップサービスの提供内容 新規追加
2018.12.18	1.13	【本書のご利用にあたって】 JP5 を提供リージョンに追加。制約事項を追記。
		1.2.メニューラインナップ 表 1 1 メニューラインナップ 利用開始日より一部メニュー、プランの利用が行えない旨の注釈を追記。 ファイアウォールメニューへ vSRX を追加。 Fast DNS メニューを追加。
		1.3.提供エリア ホスティング所在地へ JP5 リージョンの所在地を追記。
		1.4.基本用語解説 用語を追加
		2.1.IaaS 提供メニュー 【ご参照にあたっての注意事項】へ JP5 リージョンを追記。 表 2 1 IaaS 機能提供メニュー参照先 Fast DNS を追加。
		3.2.LGWAN 接続機能 重要欄の誤記訂正
		3.7.ファイアウォール機能 リンク先を vSRX のサービス説明書ページへ変更。
		4.4.チュートリアル ファイアウォール機能のリンク先を vSRX のチュートリアルへ変更。 Fast DNS メニューを追加。
		6.1.申込方法

		Fast DNS メニューを追加。 注釈※4 の文言変更。
2019.4.1	1.14	【本書のご利用にあたって】 JP5 で利用できないメニューから廃止メニューおよび Oracle EE を削除
		1.2.メニューラインナップ 表 1 1 メニューラインナップ ファイアウォールメニューの Brocade 5600 vRouter、Cloud Foundry メニュー、Rancher メニューを削除 Oracle メニューの注釈削除
		2.1.IaaS 機能提供メニュー表 2 1 IaaS 機能提供メニュー参照先 Cloud Foundry メニュー、Rancher メニューを削除 Oracle メニューの参照先を変更
		3.5.テナント間接続 「Enterprise Cloud2.0 接続」に関する記載を削除。 2 番目のメモを削除
		3.7.ファイアウォール機能 Brocade 5600 vRouter 新規販売停止に関する注釈削除
		4.1.利用できる機能表 4 1 ユーザー向けポータルで利用可能な機能 PaaS コントロールパネルを削除
		4.4.チュートリアル表 4 3 チュートリアル参照先 ファイアウォールメニューの Brocade 5600 vRouter、Cloud Foundry メニュー、Rancher メニューを削除 テナント間接続の参照先の上段の URL を削除
		6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法 Cloud Foundry メニュー、Rancher メニューを削除 ファイアウォールメニューの注釈※4 を削除
2019.5.20	1.15	1.1.1.ユーザー向けポータル 3.2.LGWAN 接続機能 4.ユーザー向けポータル 6.1.申込方法 LGWAN ユーザーへのポータル公開に関する重要事項を追記
		3.2.7.LGWAN ユーザー向けポータル公開 新規追加
		3.2.1.LGWAN 接続タイプ 表 3 11 LGWAN 接続機能で提供可能な接続タイプ 接続タイプによる利用可能プロトコルの明確化
2020.3.9	1.16	【本書のご利用にあたって】 JP5 で利用できないメニューから vSphere ESXi5.5 を削除
		1.3.メニューラインナップ表 1 1 メニューラインナップ

		<p>コロケーション接続(CIC)、匿名加工情報作成ソフトウェアメニューを追加</p> <p>注釈※3 から vSphere ESXi5.5 を削除</p> <p>ベアメタルサーバー、仮想サーバー、専用ハイパーバイザー、SQL Server および Windows Server Remote Desktop Services</p> <p>へアカデミックライセンスプランに関する注釈追記</p>
		2.1.IaaS 機能提供メニュー表 2 1 IaaS 機能提供メニュー参照先 匿名加工情報作成ソフトウェアメニューを追加
		3.1.1.10.ルーティング設定 利用不可アドレスの記載内容修正
		3.1.1.13.注意事項 プラン変更や工事計画に関する注意事項を追記
		3.2.4.2.トンネリング設定 図 3 10 トンネリング接続の構成図 複数申込時の構成に関する注釈を追記
		3.2.7.2.ポータル公開用ログイン ID のお申込み 「ユーザー向けポータルの IP アクセス制限設定変更」申込要の明記。
		3.2.7.3.ポータルのご利用 表 3 22 ポータル利用時に実施可能な 操作・不可能な操作 ポータル利用申込書修正の反映 コロケーション接続(CIC)、匿名加工情報作成ソフトウェアを追加
		3.9.コロケーション接続(CIC)機能 新規追加
		4.1.利用できる機能 ユーザー向けポータルへの IP アクセス制限に関する重要事項を追記
		4.3.ユーザー向けポータルへのログイン 画面イメージを差し替え
		4.4.チュートリアル表 4 3 チュートリアル参照先 コロケーション接続(CIC)、匿名加工情報作成ソフトウェアメニューを追加
		6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法 コロケーション接続(CIC)、匿名加工情報作成ソフトウェアメニューを追加
2020.10.2	1.17	<p>3.1.1.3.サービス提供範囲</p> <p>3.1.1.10.ルーティング設定</p> <p>3.2.3.2.LGWAN 接続ネットワークの提供</p> <p>3.3.1.3.SINET 接続ネットワークの提供</p> <p>帯域に関する補足を追記</p>
		3.1.1.13.注意事項 IP-IP トンネルの基盤側ソースアドレスに関する注意事項を追記
		3.2.7.1.ポータル公開の概要

		<p>3.2.7.3.ポータルのご利用 公開開始日に関する補足事項を追記</p> <p>3.2.7.3.ポータルのご利用 表 3 22 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作 ロードバランサーの操作可能項目を追記</p> <p>3.1.1.3.サービス提供範囲 3.3.1.2.サービス提供範囲 冗長化されていない基盤機器の記載を追記</p> <p>1.2.メニューラインナップ 表 1 1 提供メニュー分類を追加、メニューラインナップの表を分割</p> <p>【本書のご利用にあたって】 4.ユーザー向けポータル 5.1.問い合わせ窓口 参照先リンクを修正</p>
2020.12.28	1.18	<p>3.2.5. LGWAN ユーザー向けポータル操作代行 内容を全面更新</p> <p>3.2.6.ポータル操作代行におけるバックアップサービスの提供内容 記載内容の現況状況への更新と補足事項の追記</p> <p>5.5.サポート情報 章追加</p>
2021.4.1	1.19	<p>1.3.メニューラインナップ 匿名加工情報作成ソフトウェアメニューを削除</p> <p>2.1.IaaS 機能提供メニュー表 2 1 IaaS 機能提供メニュー参照先 匿名加工情報作成ソフトウェアメニューを削除</p> <p>3.2.5.3.ポータル操作代行項目 表 3 22 ポータル操作代行項目 ファイアウォールを追加</p> <p>3.2.7.3.ポータルのご利用 表 3 23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作 ファイアウォールを追加 匿名加工情報作成ソフトウェアを削除</p> <p>3.2.7.4.ポータル公開後の監査、是正 vSRX を削除</p> <p>4.4.チュートリアル 表 4 3 チュートリアル参照先 匿名加工情報作成ソフトウェアを削除</p> <p>6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法 匿名加工情報作成ソフトウェアメニューを削除</p>
2021.5.25	1.20	<p>1.1.サービスの特長 図 1 1 本サービスの特長</p> <p>3.1.1.1.契約タイプ 表 3 1 ユーザーネットワーク接続で利用可能な契約タイプと推奨 NW サービス (NTT 東日本)</p> <p>3.1.1.5.CPE 設置スペースの提供</p>



	<p>Manged SD-WAN を追記</p>
	<p>3.1.1.1.契約タイプ 3.1.1.5.CPE 設置スペースの提供 3.1.1.11.IP-IP トンネリング設定 Manged SD-WAN 利用時の制約事項を重要欄に追記</p>
	<p>1.3.メニューラインナップ 誤記訂正</p>
	<p>5.3.故障発生時の連絡 5.4.メンテナンスの案内 通知先メールアドレスに関する補足を追記</p>
	<p>3.2.7.1.ポータル公開の概要 3.2.7.3.ポータルのご利用 ポータル公開期間変更に伴う修正</p>
	<p>1.1.サービスの特徴 「Enterprise Cloud 2.0」表記を「Smart Data Platform」表記へ変更 1.2.メニューラインナップ 表メニューラインナップ(IaaS 機能)のカテゴリ列右側削除し、SDPF メニュー名列を追加し表フォーマット変更、注釈 重要欄を削除 表メニューラインナップ(ネットワーク機能)のカテゴリ列右側削除し、SDPF メニュー名列を追加し表フォーマット変更、注釈 2.1.IaaS 機能提供メニュー リンク先変更、文言変更 表 IaaS 機能提供メニュー参照先」リンク先変更、表タイトル変更、カテゴリ列削除 共通機能 GW のリンク先、文言変更 3.1.1.ユーザーネットワーク接続 ロジカルネットワークのリンク先、文言変更 3.2.5.LGWAN ユーザー向けポータル操作代行 参照先のリンク先名称、リンク変更 3.4.インターネット接続機能 リンク先を変更し、文言変更 3.5.テナント間接続機能 リンク先を変更し、文言変更 3.6.ロジカルネットワーク機能 リンク先を変更し、文言変更 3.7.ファイアウォール機能 リンク先を変更し、文言変更 3.8.ロードバランサー機能</p>

		<p>リンク先を変更し、文言変更</p> <p>3.9.コロケーション接続(CIC)機能</p> <p>リンク先を変更し、文言変更</p> <p>4.ユーザー向けポータル</p> <p>リンク先を変更</p> <p>4.1.利用できる機能</p> <p>文言変更</p>
2021.9.6	1.21	<p>【本書のご利用にあたって】</p> <p>1.2.メニューラインナップ 表 1 2 メニューラインナップ(IaaS 機能)</p> <p>ファイルストレージプレミアム、SAP HANA の記載を削除</p> <p>2.1.IaaS 機能提供メニュー表 2 1 IaaS 機能提供メニュー参照先</p> <p>5.1.問い合わせ窓口表 5 1 OS、MW お問い合わせ対応内容</p> <p>5.1.3.14.SAP HANA</p> <p>6.1.申込方法表 6 1 各メニューの申込方法</p> <p>SAP HANA の記載を削除</p> <p>3.2.7.3.ポータルのご利用 表 3 23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作</p> <p>ファイアウォールポリシーに関する注釈追加</p> <p>1.4.責任分界点</p> <p>章を追記</p> <p>4.ユーザー向けポータル</p> <p>5.1.1. 問合せ窓口種別</p> <p>仮想サーバー停止における重要事項を追記</p>
2021.12.20	1.22	<p>3.2.LGWAN 接続機能</p> <p>3.2.7.2.ポータル公開用ログイン ID のお申込み</p> <p>API 利用不可に関する追記</p> <p>3.2.1.LGWAN 接続タイプ</p> <p>表 3 11 LGWAN 接続機能で提供可能な接続タイプ</p> <p>利用プロトコルのポート番号を明記</p> <p>アプリケーション証明書の納期に関する注釈を重要欄に追記</p> <p>3.2.7.3.ポータルのご利用 表 3 23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作</p> <p>Managed Anti-Virus、Managed Virtual Patch、Managed Host-based Security Package を許可操作に追加</p> <p>カスタムメーター利用不可に関する追記</p> <p>4.4.API</p> <p>新規追加</p> <p>5.1.1.問合せ窓口種別</p> <p>基盤ログに関する対応を追記</p> <p>5.1.3.お問合せ時確認内容</p>

		<p>基盤設備調査時の回答時間に関する追記</p> <p>1.3.メニューラインナップ グループについてのメモ追加</p> <p>1.2.メニューラインナップ 表 1 2 メニューラインナップ(IaaS 機能) 2.1.IaaS 提供メニュー 表 2 1 IaaS 機能提供メニュー参照先 6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法 Fast DNS メニューを削除</p>
2022.4.19	1.23	<p>全般 文中のメニュー名の表記を以下に修正</p> <p>仮想サーバー→サーバーインスタンス イメージ保存領域→イメージ管理 専用ハイパーバイザー→ハイパーバイザー インターネット接続→インターネット接続ゲートウェイ コロケーション接続(CIC)→コロケーション接続 Arcserve Unified Data Protection (UDP) Advanced Edition →Arcserve Unified Data Protection</p> <p>【本書のご利用にあたって】 提供リージョン追加に伴う修正</p> <p>1.2.メニューラインナップ 本サービスの申込日時期ごとの利用可能リージョンを重要欄に追加 「表 1 2 メニューラインナップ(IaaS 機能)」「表 1 3 メニューラインナップ(ネットワーク機能)」へ各メニューの利用可能リージョンを追加、構成変更に伴う注釈変更 バックアップ（スタンダード/ダブルストア）メニューの注釈を追記</p> <p>1.3.提供エリア 追加提供するホスティング所在地を追記</p> <p>3.1.1.ユーザーネットワーク接続 3.2.LGWAN 接続機能 3.3.1.SINET 接続 一部リージョンで利用可能である旨追記 表記誤り訂正</p> <p>3.2.LGWAN 接続機能 準拠すべき規定に関する記載を修正</p> <p>6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法 リージョン間接続を追記</p> <p>3.10.リージョン間接続機能 追加</p> <p>4.3.ユーザー向けポータルへのログイン</p>

		テナント作成に関する補足を追記
2022.7.1	1.24	<p>3.2.1.LGWAN 接続タイプ 表 3 11 LGWAN 接続機能で提供可能な接続タイプ          プロトコル追加に関する補足を追記</p> <p>3.2.5.3.ポータル操作代行項目 表 3 22 ポータル操作代行項目          3.2.7.3.ポータルのご利用 表 3 23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作          3.2.7.4.ポータル公開後の監査、是正          リージョン間接続を追記</p> <p>3.10.リージョン間接続機能          重要事項を追記</p> <p>4.3.ユーザー向けポータルへのログイン          図 4 7リージョン選択画面のイメージ差し替え</p>
2022.8.4	1.25	<p>3.2.7.3.ポータルのご利用 表 3 23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作          操作可否項目の見直し</p>
2022.10.31	1.26	<p>2.1.IaaS 機能提供メニュー 表 2 1 IaaS 機能提供メニュー参照先          3.9.コロケーション接続機能          参照先 URL 訂正</p> <p>3.2.7.3.ポータルのご利用 表 3 23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作          操作可否項目の見直し</p> <p>3.3.1.SINET 接続          3.3.1.2.サービス提供範囲 図 3 14 SINET 接続におけるサービス提供範囲          3.3.1.3.SINET 接続ネットワークの提供 図 3 15 SINET 接続の構成図          SINET5 の記載を SINET6 へ修正</p> <p>5.1.問合せ窓口 表 5 1 OS、MW お問合わせ対応内容          6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法          Rocky Linux を追加</p> <p>1.4.責任分界点          3.1.1.10.ルーティング設定          3.2.3.2.LGWAN 接続ネットワークの提供          3.2.4.2.トンネリング設定          3.2.5.3.ポータル操作代行項目          3.2.7.3.ポータルのご利用          3.3.1.3.SINET 接続ネットワークの提供</p>

		5.1.3.13.VPN 接続ゲートウェイおよび Flexible InterConnect 接続ゲートウェイ 閉域接続メニューでの FIC ゲートウェイを提供に伴う修正
2023.4.28	1.27	1.2.メニューラインナップ 表 1 2 メニューラインナップ(IaaS 機能) 2.1.IaaS 機能提供メニュー 表 2 1 IaaS 機能提供メニュー参照先 3.2.5.3.ポータル操作代行項目 表 3 22 ポータル操作代行項目 3.2.6. ポータル操作代行におけるバックアップサービスの提供内容 4.1.利用できる機能 6.1.申込方法 バックアップ(スタンダード/ダブルストア)メニューに関する記載を削除
		1.2.メニューラインナップ 表 1 3 メニューラインナップ(ネットワーク機能) ネットワーク接続機能(閉域)、LGWAN 接続、SINET 接続メニューの利用可能リージョンを変更
		3.2.4.1.利用できる機能 3.2.4.2.トンネリング設定 ③LGWAN 専用 VPN 装置 3.2.4.3.提供単位 提供機種変更に伴う修正
		3.2.5.4.制約事項 3.2.7.1.ポータル公開の概要 3.2.7.3.ポータルのご利用 ポータル公開代行操作期間中のポータル公開の利用に関する記載の見直し
2023.7.25	1.28	1.2.メニューラインナップ 表 1 3 メニューラインナップ(ネットワーク機能) 3.2.5.3.ポータル操作代行項目 表 3 22 ポータル操作代行項目 3.2.7.3.ポータルのご利用 表 3 23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作 6.1.申込方法 表 6 1 各メニューの申込方法 Managed Load Balancer メニューを追加
		3.9.Managed Load Balancer 機能追加
		【本書のご利用にあたって】 1.2.メニューラインナップ JP5 リージョン新規契約停止に伴う修正
2024.02.15	1.29	1.2.メニューラインナップ 表 1 3 メニューラインナップ(ネットワーク機能) 3.2.7.3.ポータルのご利用表 3 23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作

---

---

		セキュリティグループメニューを追加
		3.10.セキュリティグループ機能 新規追加

---

## 【本書のご利用にあたって】

クラウドゲートウェイ サーバーホスティングは、NTT コミュニケーションズ社が提供する「Smart Data Platform」サービスのクラウド/サーバー、ネットワークおよびモニタリング/監査カテゴリメニュー（以下「SDPF」。旧称「Enterprise Cloud 2.0」、2021年5月にSDPFへサービス統合）を利用したOEMサービスです。

本書では一部サービスメニューの機能説明や操作方法に関して、NTT コミュニケーションズ社「SDPF」ナレッジサイトのサービス一覧ページを参照する形で構成しています。

参照先には、お客様の本サービスの利用には関係しない、以下の様な記載があることにご留意ください。

- 本サービスを提供するリージョン以外の記載がございます。本サービスを提供するリージョンは、JP1リージョン、JP5リージョン、JP6リージョンおよびJP7リージョンとなります。JP1リージョンは2018年12月17日、JP5リージョンは2023年7月17日をもって新規ご利用を停止いたします。
- お客様が利用できないサービスメニューの記載がございます。また、リージョン毎にご利用可能なメニューが異なります。本サービスで提供するリージョン毎にご利用可能なサービスメニューは、「1.2 メニューラインナップ」をご確認ください。
- お客様が利用できないユーザー向けポータル操作の記載がございます。お客様が利用可能なユーザー向けポータルの操作は、「4 ユーザー向けポータル」をご確認ください。
- 「SDPF」のSLAの記載がございます。本サービスでは適用対象外となります。
- ビジネスポータルからの申し込み、利用に関する記載がございます。本サービスの利用にあたって、お客様にビジネスポータルをご利用いただくことはありません。
- 本サービスの申し込みは、申込書にてお申し込みください。
- 各サービスメニューの申し込み方法は、「表 6-1 各メニューの申込方法」をご確認ください。
- 本サービスの利用規約は以下サイトにございます。

<https://business.ntt-east.co.jp/service/serverhosting/documents.html>

ご利用における条件や料金は、クラウドゲートウェイ サーバーホスティング利用規約をご参照ください。

- 本サービス料金計算は、協定世界時（UTC）に基づいて計算されます。協定世界時（UTC）は日本時間より9時間遅いため、サービスお申込み時期にご注意ください。

例）日本時間で「6/1 AM8:00」の場合、協定世界時（UTC）では「5/31 PM23:00」この時間に課金メニューを申込みると、5月分の利用料が発生します。

---

※本書で参照先としているリンクは変更となる可能性があります。リンク切れにより参照不可の場合は、NTT コミュニケーションズ社「SDPF」ナレッジサイトのサービス一覧ページからご確認ください。

<https://sdpf.ntt.com/services/>



---

## 目次

【本書のご利用にあたって】 .....	14
1. サービス概要 .....	19
1.1. サービスの特徴 .....	19
1.1.1. ユーザー向けポータル .....	20
1.2. メニューラインナップ .....	21
1.3. 提供エリア .....	27
1.4. 責任分界点 .....	28
1.5. 基本用語解説 .....	30
2. IaaS 機能 .....	34
2.1. IaaS 機能提供メニュー .....	34
3. ネットワーク機能 .....	36
3.1. 閉域ネットワーク接続機能 .....	36
3.1.1. ユーザーネットワーク接続 .....	36
3.2. LGWAN 接続機能 .....	53
3.2.1. LGWAN 接続タイプ .....	54
3.2.2. サービス提供範囲 .....	55
3.2.3. IP アドレス接続 .....	56
3.2.4. トンネリング接続 .....	61
3.2.5. LGWAN ユーザー向けポータル操作代行 .....	67
3.2.6. ポータル操作代行におけるバックアップサービスの提供内容 .....	71
3.2.7. LGWAN ユーザー向けポータル公開 .....	75
3.3. SINET 接続機能 .....	84

---

3.3.1. SINET 接続 .....	84
3.4. インターネット接続ゲートウェイ機能 .....	89
3.5. テナント間接続機能 .....	89
3.6. ロジカルネットワーク機能 .....	89
3.7. ファイアウォール機能 .....	89
3.8. ロードバランサー機能 .....	89
3.9. Managed Load Balancer 機能 .....	89
3.10. セキュリティグループ機能 .....	89
3.11. コロケーション接続機能 .....	90
3.12. リージョン間接続機能 .....	90
4. ユーザー向けポータル .....	92
4.1. 利用できる機能 .....	93
4.2. ユーザー向けポータル利用条件 .....	94
4.3. ユーザー向けポータルへのログイン .....	95
4.4. API .....	99
5. サービスの保守運用 .....	100
5.1. 問い合わせ窓口 .....	100
5.1.1. 問合せ窓口種別 .....	103
5.1.2. 保守運用体制 .....	104
5.1.3. お問合せ時確認内容 .....	105
5.2. 基盤設備監視体制 .....	109
5.3. 故障発生時の連絡 .....	110
5.4. メンテナンスの案内 .....	111

---

5.5. サポート情報 .....	113
5.6. 保守運用における制約事項 .....	114
5.6.1. 故障対応 .....	114
5.6.2. 平日/営業日の定義について .....	114
6. 申込 .....	115
6.1. 申込方法 .....	115

# 1. サービス概要

## 1.1. サービスの特徴

コンピュータリソース、ファイアウォール、インターネット接続、閉域ネットワーク接続などの ICT リソースが、堅牢なデータセンターのクラウド基盤上で提供されます。

本サービスは、NTT コミュニケーションズ社が提供する「Smart Data Platform」サービスのクラウド/サーバー、ネットワークおよびモニタリング/監査カテゴリメニュー(以下「SDPF」。旧称「Enterprise Cloud 2.0」、2021 年 5 月に SDPF サービス統合)を利用した OEM サービスです。

本サービスの特長は、以下のとおりです。

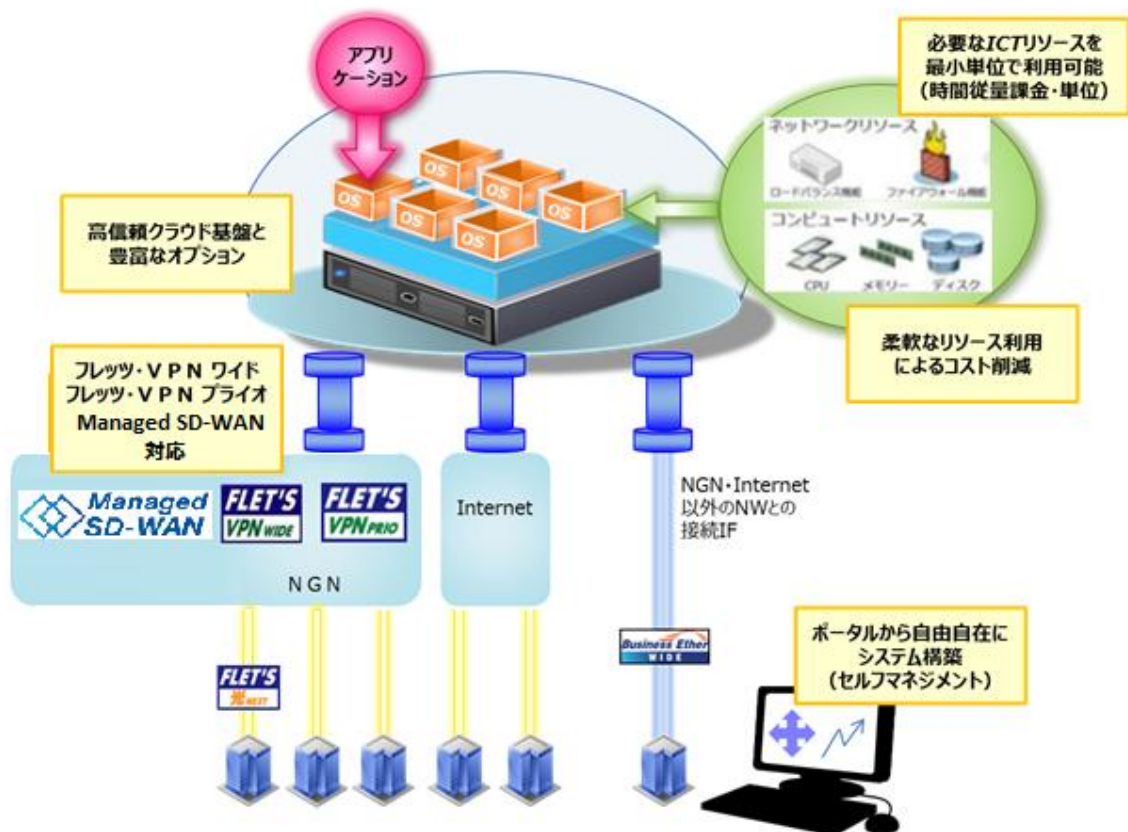


図 1-1 本サービスの特長

---

### 1.1.1. ユーザー向けポータル

お客様へは、各サービスメニューのリソースの管理を行うことができる GUI（以下、「ユーザー向けポータル」と記載）を提供します。

ユーザー向けポータルから、仮想サーバーの追加・削除、ファイアウォールなどの設定ポリシー、各リソースの増減などをリアルタイムで行うことができます。お客様の仮想サーバーの利用状況に応じたタイムリーな運用をお客様自身で実現することが可能であるため、サービス品質の向上や徹底的なコスト効率化を実現することができます。

#### 重要

- 「3.2.LGWAN 接続機能」を利用のお客様へは、ユーザー向けポータルの利用に制限があります。詳しくは、「3.2.5 LGWAN ユーザー向けポータル操作代行」を参照してください。なお、ご利用にあたっての制限はございますが、別途お申込みいただくことでポータルはご利用いただけます。詳しくは、「3.2.7 LGWAN ユーザー向けポータル公開」をご参照ください。

## 1.2.メニューラインナップ

本サービスで利用可能なメニューは、大きく以下の2つに分類されます。

表 1-1 提供メニュー分類

分類	概要
IaaS 機能	オンデマンドで利用可能な CPU/メモリー/ストレージなどのコンピュートリソースメニューや各種 OS、ミドルウェア、バックアップ、セキュリティなどのメニューを提供します。
ネットワーク機能	閉域ネットワークやインターネット、総合行政ネットワーク(LGWAN)や学術情報ネットワーク(SINET)との接続を提供するメニュー、お客様テナント内を構成するネットワークやファイアウォール、ロードバランサーなどのネットワークリソースメニュー、お客様テナント間の接続、コロケーション上の機器との接続を提供します。

**重要**

- お客様の本サービスへのお申込日あるいは開通日によりご利用可能なリージョンは以下表の通りとなります。

お申込日/開通日	JP1	JP5	JP6	JP7
2018年12月17日以前 お申込み	○	×	○	○
2018年12月18日以降 お申込み	×	○	○	○
2023年7月18日以降 開通	×	×	○	○

凡例：○：ご利用いただけるリージョン、×：ご利用いただけないリージョン

本サービスでは、以下のメニューを使用できます。

表 1-2 メニューラインナップ(IaaS 機能)

カテゴリ	メニュー		概要	ご利用可能リージョン <sup>※3</sup>			
				JP1	JP5	JP6	JP7
サーバー	ベアメタルサーバー	ベアメタルサーバー	お客様専用の物理サーバーを提供します。	○	○	○	○
		リモートコンソールアクセス	SSL VPN を経由してベアメタルサーバーの IPMI にアクセスする機能を提供します。	○	○	○	○
		OS <sup>※1</sup>	ベアメタルサーバーでご利用可能な各種 OS のオフィシャルイメージテンプレートを提供します。	○	○	○	○
	サーバーインスタンス	コンピューティング	複数のお客様で共用する物理サーバーを仮想化して、仮想サーバーを作成するための CPU・メモリーを提供します。	○	○	○	○
		ボリューム	複数のお客様で共用する物理ストレージを仮想化して、仮想ストレージを提供します。	○	○	○	○
		OS <sup>※1</sup>	仮想サーバーでご利用可能な各種 OS のオフィシャルイメージテンプレートを提供します。	○	○	○	○
	ハイパーバイザー (vSphere/Hyper-V) <sup>※1</sup>		ベアメタルサーバーとハイパーバイザー (vSphere ESXi および Hyper-V) のプロバイダーライセンスをセットで提供します。 vSphere と Hyper-V メニューで利用できる仮想マシン向けイメージ等のダウンロードやプロバイダーライセンスを発行します。	○	○	○	○
	イメージ管理	プライベートテンプレート	サーバーやストレージをイメージ化し保管する領域を提供します。	○	○	○	○
		プライベート ISO	外部から持ち込むディスクイメージを保管する領域を提供します。	○	○	○	○

カテゴリ	メニュー	概要	ご利用可能リージョン <sup>※3</sup>			
			JP1	JP5	JP6	JP7
ストレージ	ブロックストレージ	iSCSI プロトコルによりロジカルネットワーク経由で接続可能な高 IOPS 性能のストレージを提供します。	○	○	○	○
	ファイルストレージ	NFS プロトコルによりロジカルネットワーク経由で接続可能なファイルストレージを提供します。	○	○	○	○
セキュリティ	ネットワーク型セキュリティ	テナント内で利用することができるファイアウォール機能、Web アプリケーションサーバーに対する不正アクセスや攻撃通信などのセキュリティ脅威を検知/防御する機能を提供します。	○	○	○	○
	Managed Firewall、 Managed UTM、 Managed WAF					
	ホスト型セキュリティ	テナント内のサーバーインスタンス上で	○	○	○	○
	Managed Anti-Virus、 Managed Virtual Patch、 Managed Host-based Security Package	利用することができるウイルス対策、侵入防御機能およびファイアウォール機能を提供します。				
ミドルウェア	Oracle	サーバーインスタンスメニュー、ベアメタルサーバーメニュー、ハイパーバイザーメニューといったサーバー基盤メニューに対し、Oracle ライセンスを提供します。	○	○	○	○
	SQL Server <sup>※1</sup>	サーバーインスタンス、およびハイパーバイザーでご利用可能な SQL Server オフィシャルイメージテンプレートを提供します。	○	○	○	○
	HULFT	サーバーインスタンス、ハイパーバイザーの仮想マシン上にインストール可能な HULFT ライセンスを月額モデルで提供します。	○	○	○	○
	Windows Server Remote Desktop Services SAL <sup>※1</sup>	サーバーインスタンス、ハイパーバイザーで利用可能な RDS SAL オフィシャルイメージテンプレートを提供します。	○	○	○	○



カテゴリ	メニュー	概要	ご利用可能リージョン <sup>※3</sup>			
			JP1	JP5	JP6	JP7
	Arcserve Unified Data Protection	サーバーインスタンス、ハイパーバイザーおよびベアメタルサーバーで利用可能なバックアップソフトウェアのライセンスを提供します。	○	○	○	○
	DNS	外部向け DNS サービスを提供します。	○	○	○	○
	WebRTC Platform SkyWay	WebRTC 技術を活用したアプリケーションを簡単に開発できる CPaaS(Communications Platform as a Service)であり、WebRTC 活用に必要な Signaling、TURN、SFU 等のサーバー群をサービス型で提供します。	○	○	○	○
ポータル	ユーザー向けポータル	お客様テナントの各サービスメニューのリソースの管理を行うことができる GUI を提供します。	○	○	○	○
	モニタリング	サーバーインスタンスをはじめとする各種リソースの情報（メーター）を収集し、レポートする機能を提供します。	○	○	○	○

※1 Microsoft が指定する「マイクロソフト適格教育ユーザー定義(日本)」に該当する教育機関の設置者様向けのアカデミックライセンスプランを提供します(JP1 リージョンは除きます)。ご利用条件は、クラウドゲートウェイサーバーホスティング利用規約をご確認ください。なお、サーバーインスタンスメニューの OS で利用できるのは、Windows Server 2016、Windows Server 2019 のみとなります。

※3 リージョン毎でご利用可能な各メニューのプランの詳細については、クラウドゲートウェイサーバーホスティングの利用規約をご確認ください。

メモ

- サーバーインスタンスは、複数の物理サーバーで構成されたグループという集合単位の収容設備上に搭載されます。グループを分けることで、サーバーインスタンスを必ず物理的に異なるサーバーに収容することができますので、物理サーバーの故障対策を備えたシステムの構築が可能です。

表 1-3 メニューラインナップ(ネットワーク機能)

カテゴリ	メニュー		概要	ご利用可能リージョン <sup>※3</sup>			
				JP1	JP5	JP6	JP7
ネットワーク 接続機能 (閉域)	閉域ネット ワーク接続	ユーザーネット ワーク接続	IaaS 基盤へ接続するためのネットワーク をお客様が調達する場合に、お客様ネット ワークを IaaS 基盤に接続するための インタフェース機能が提供されます。	○	○	×	○
		トンネル接続	LGWAN 上でサービス提供可能とする 機能が提供されます。	○	○	×	○
	LGWAN 接続	IP アドレス 接続	LGWAN と IaaS 基盤を接続し、本サ ービス上に構築したアプリケーションを	○	○	×	○
		SINET 接続	SINET と IaaS 基盤を接続するための 機能が提供されます。	○	○	×	○
ネットワーク 接続機能 (インターネ ット)	インターネッ ト接続ゲー トウェイ	インターネット 接続	冗長化された設備で構築されたインター ネット接続を提供します。	○	○	○	○
		グローバル IP アドレス	インターネットとの通信に必要なグローバル IP アドレス(IPv4)を提供します。	○	○	○	○
ネットワーク 付加機能	ロジカルネットワーク		お客様がテナント内で利用することができ る L2 ネットワークを提供します。	○	○	○	○
	ファイア ウォール	vSRX	サーバーインスタンスで稼動するソフトウェ アアプライアンスでファイアウォール機能を 提供します。	○	○	○	○
	ロードバランサー		サーバーインスタンスで稼動するソフトウェ アアプライアンスでロードバランサー機能を 提供します。	○	○	○	○
	Managed Load Balancer		L4/L7 通信のロードバランサーを Managed 型で提供します。	○	○	○	○

カテゴリ	メニュー	概要	ご利用可能リージョン <sup>※3</sup>			
			JP1	JP5	JP6	JP7
	セキュリティグループ	<p>サーバーインスタンスの仮想ファイアウォールとして機能し、設定した条件に基づいて受信/送信トラフィックを制御する機能を提供します。</p> <p>※本メニューでのアクセス制御結果はログとして記録されません。そのため、LGWAN 接続機能をご利用のお客様は本メニューをご利用いただけますが、IP アドレス/ポート/プロトコルレベルでの必要通信のみに絞ったアクセス制御は Managed Firewall/Managed UTM を用いて実施いただく必要がございます。</p> <p>※本メニューに関するポータル操作代行作業は承っていませんので、ポータル公開にてご利用ください。</p>	×	×	×	○
	テナント間接続	同一データセンター内の任意のテナント間を接続する機能を提供します。	○	○	○	○
	コロケーション接続	お客様テナントと、弊社指定のデータセンターにおけるコロケーションラックとの接続を提供します。	○	○	○	○
	リージョン間接続	本サービスのリージョン間を、広帯域かつセキュアに接続する機能を提供します。	○	○	○	○

※1 リージョン毎でご利用可能な各メニューのプランの詳細については、クラウドゲートウェイサーバーホスティングの利用規約をご確認ください。

---

### 1.3. 提供エリア

(1) お申込者の前提

本サービスの提供エリアは、日本国内全域とします。

(2) ホスティング所在地

本サービスの提供に関わるサービス基盤の所在地は、埼玉県川口市内、東京都江東区内、兵庫県尼崎市内および東京都武蔵野市内になります。

(3) アクセスポイント所在地

本サービスの提供に関わるアクセスポイントの所在地は、埼玉県さいたま市内になります。

## 1.4. 責任分界点

本サービスにおける責任分界点は以下となります。お客様拠点内の環境及び、お客様にてユーザー向けポータルや API で作成されたテナント内のリソースについては、お客様による管理範囲となります。

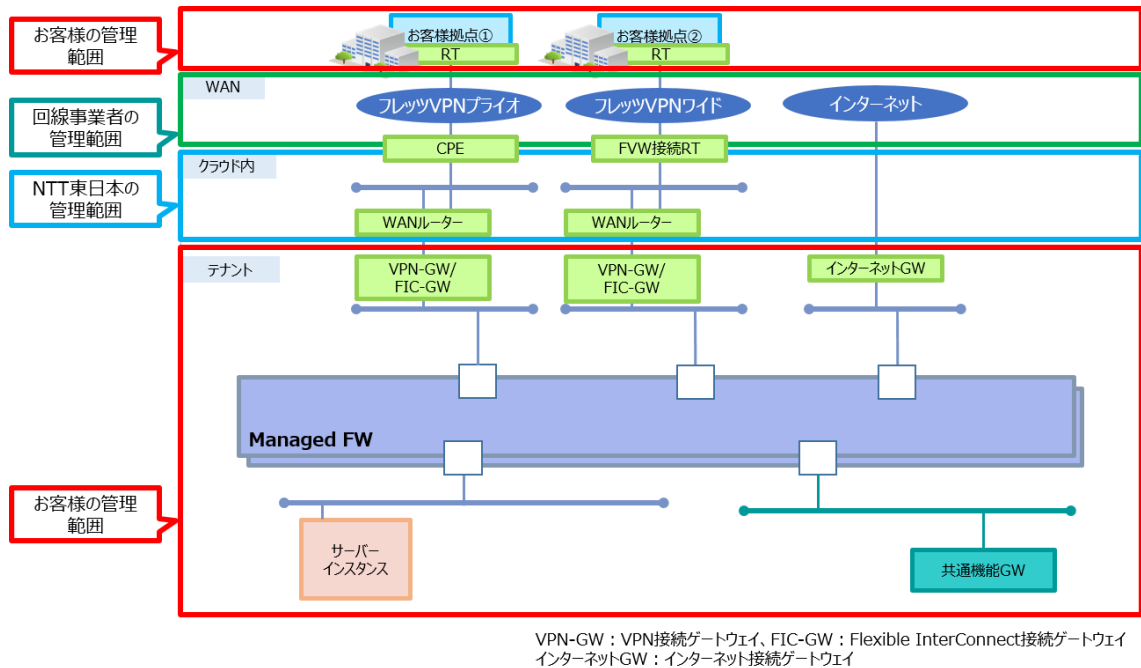


図 1-2 責任分界点（概念図）

上記のうちテナント内における弊社の管理範囲はファシリティから仮想化基盤までの設備やユーザー向けポータル、API となります。仮想ネットワークより上位層については、お客様にて自由に作成や設定ができます。なお、お客様にて作成されたリソースについて、お客様にて構成管理（パラメータシート、ネットワーク構成図）や定期的なバックアップ、セキュリティ対策を実施いただく必要がございます。また、本サービスより提供しておりますテンプレート OS の使用開始後についてはお客様による管理範囲となります。

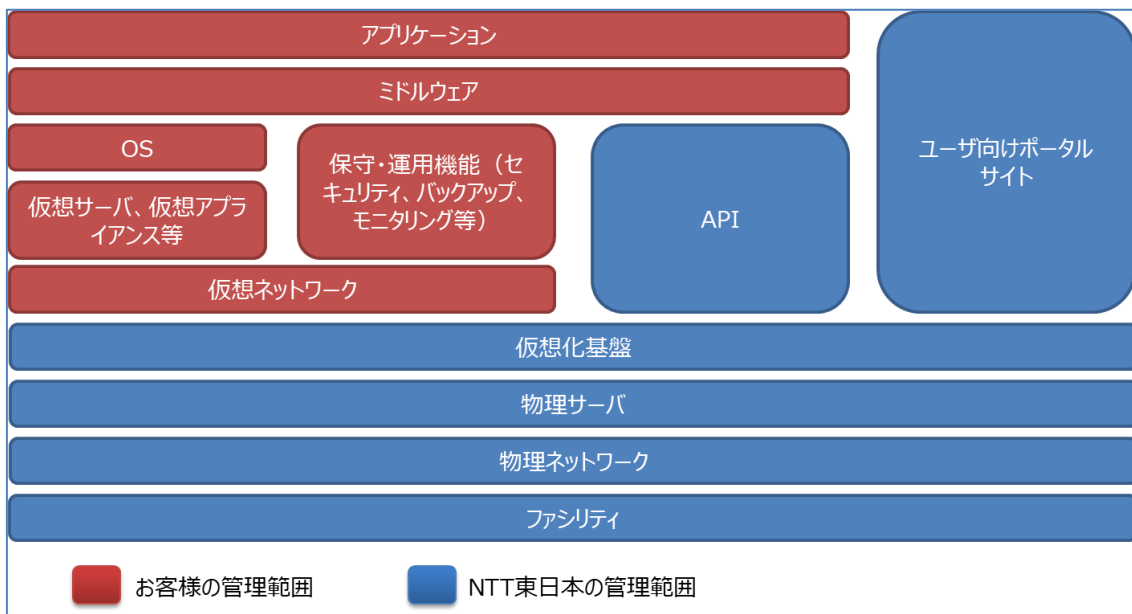


図 1-3 責任分界 (テナント内管理範囲)

## 1.5. 基本用語解説

本書で使用される基本的な用語を説明します。

表 1-4 本書で使用される基本的な用語

用語/Terminology	定義 (Definitions)
CPE /Customer Premises Equipment	通信サービスで、加入者宅・施設に設置される通信機器。電話機や携帯電話、ADSL モデム、ONU、ケーブルモデム、ブロードバンドルーター、セットトップボックスなどがこれに該当する。 本書では、お客様がクラウド接続用に用意したフレッツ・VPNプライオのレンタル CPE 相当の機器を示す。
DNS /Domain Name System	インターネットなどの TCP/IP ネットワーク上でドメイン名やホスト名と IP アドレスの対応関係を管理するシステム。
HTTP /HyperText Transfer Protocol	Web サーバーと Web クライアントの間でデータの送受信を行うために用いられるプロトコル。
HTTPS /HTTP over SSL/TLS	HTTP が、SSL や TLS で暗号化されている状態を表したもの。
Hyper-V	Microsoft が提供する仮想化システム。Windows ハイパーバイザーと呼ばれる仮想化技術をベースとして実現されている。
IaaS /Infrastructure as a Service	情報システムの稼動に必要な機材や回線などの基盤(インフラ)を、インターネット上のサービスとして遠隔から利用できるようにしたもの。
IEEE802.1q	タグ VLAN に関する規格。主に、各 VLAN グループに固有の識別番号(VLAN ID)を割り当て、これをフレーム内に格納して識別する方法について規定している。
IP-IP トンネリング	暗号・認証処理を行わずに通信のトンネルを構成する。 暗号化されていないので通常のパケット転送とほぼ同等の通信速度を実現することが可能。
IPMI /Intelligent Platform Management Interface	ネットワーク機器やサーバーなどを監視するソフトウェアが、特定のハードウェアシステムや OS に依存することなく、監視を可能にするための標準インターフェース。

用語/Terminology	定義 (Definitions)
Ipsec /IP security	暗号技術を使って IP パケットの完全性や機密性を実現する仕組み。
iSCSI /Internet Small Computer System Interface	IP ネットワークを利用して SAN(Storage Area Network)を構築する プロトコル規格。
J-Lis /Japan Agency for Local Authority Information Systems	地方公共団体情報システム機構。LGWAN の運営主体。
L2 フォワーディング (SSL-VPN)	SSL-VPN の実現方式の 1 つで、アプリケーションのデータを HTTP の パケットに入れてカプセル化し、SSL 通信を行う。
LGWAN /Local Government Wide Area Network	総合行政ネットワーク。地方自治体のコンピュータネットワークを相互接 続した広域ネットワーク。
NAT /Network Address Translation	インターネットのグローバルアドレスとプライベートアドレスを相互に変換 し、LAN 内の機器がインターネットを利用できるようにするためのアドレス 変換の技術。
NFS /Network File System	ネットワークを利用してファイルを共有するサービス、またはそれを実現す るソフトウェア。NFS により、ほかのコンピュータ上にあるファイルや装置を マウントして手元にあるように利用可能。
NTP /Network Time Protocol	TCP/IP ネットワークを通じて正しい現在時刻を取得するためのプロトコ ルの一つ。ネットワーク上で時刻情報を配信しているサーバーに問い合 わせる手順を定義したもの。
Ping /Packet INternet Groper	TCP/IP ネットワークにおいて、相手先ホストと通信できるか(導通)を確 認するコマンド。調べたい相手の IP アドレスやホスト名を指定すると、 ICMP というプロトコルを用いて短いデータを送信し、相手のコンピュータ から応答があるかどうか、応答にどのくらい時間がかかったかなどを調査す る。
PPPoE /Point to Point Protocol over Ethernet	Ethernet を使って、ダイヤルアップ接続の PPP(2 台のコンピュータ間で 直接通信するために開発されたプロトコル)と同等の機能を実現するプロ トコル。



用語/Terminology	定義 (Definitions)
SINET /Science Information Network	日本全国の大学、研究機関等の学術情報基盤として、国立情報学研究所(NII)が構築、運用している情報通信ネットワーク。
SMTP /Simple Mail Transfer Protocol	TCP/IP ネットワークで標準的に用いられる、電子メールを伝送するためのプロトコル。利用者の使うメールソフトからメールサーバーに送信依頼する際や、メールサーバー間でメールを転送するのに使う。
SSL-VPN /Secure Sockets Layer Virtual Private Network	VPN の 1 つの方式で SSL を使って VPN 通信を行うこと。
vSphere	VMware が提供する仮想化ソフトのパッケージ。ハイパーバイザーの VMware ESX/ESXi を中心に、vMotion など関連するソフトウェアで構成される。
オンプレミス	企業の業務システムなどで、自社で用意した設備でソフトウェアなどを導入・利用すること。自社運用。
ゲートウェイ	ネットワーク同士を接続して通信する際に必要な装置。
ゲスト OS	仮想マシン環境で、仮想マシン上で動作している OS のこと。
テナント	お客様が本サービスで利用する各種リソースを管理する論理的な単位。
テンプレート	サーバーをコピーして作成された、仮想サーバーイメージ。ユーザー自身で用意したテンプレートをプライベートテンプレート、本サービスが提供するテンプレートをオフィシャルイメージテンプレートという。
ファイアウォール	インターネットなどから本サービスへ侵入されることを防ぐための機器。
フレッツ・V P N プライオ	データ送受信最大概ね 1Gbps の通信速度に加え、帯域優先機能を備えることで、高速・高品質な通信を実現可能とした企業、法人のお客様さま向けのインターネット接続サービス。
フレッツ・V P N ワイド	フレッツ 光ネクストや B フレッツ、フレッツ・ADSL、フレッツ・ISDN を利用して、複数の拠点を接続することが可能な VPN サービス。
ライセンス認証	ソフトウェアの違法コピー防止のために、ソフトウェア製品が正規にライセンスされたものであることを確認するための技術。
ロードバランサー	複数のサーバーへリクエストを割り振る負荷分散装置。
仮想サーバー	物理サーバーで動作する仮想化ソフトウェア上に Windows や Linux などの OS を導入し構築したサーバー。

---

---

用語/Terminology	定義 (Definitions)
グループ	サーバー、スイッチ、ストレージなどの設備のグループ単位。
ゾーン	収容ビルの集合単位。複数のグループを配下に持つ。
リージョン	本サービスの管理システムの単位。国や地域レベルの集合単位となっており、複数のゾーンを配下に持つ。

## 2. IaaS 機能

### 2.1. IaaS 機能提供メニュー

IaaS 機能が提供するメニューの詳細は以下の参照先リンクからご確認ください。参照先では以下の情報をご確認いただけます。

- ・詳細情報(サービス説明書)
- ・チュートリアル
- ・API リファレンス
- ・よくある質問
- ・既知の問題(既知の事象)

※リンクは変更となる可能性があります。以下リンクより参照不可の場合は、NTT コミュニケーションズ社の「SDPF サービス提供一覧」ページをご確認ください。

<https://sdpf.ntt.com/services/>

#### 【ご参照にあたっての注意事項】

以下に該当する記載は除きます。

- ・「1.2 メニューラインナップ」に記載のないメニュー
- ・料金に関する記載
- ・品質に関する記載

表 2-1 IaaS 機能提供メニュー参照先

メニュー	SDPF 提供サービス一覧 参照先リンク
ベアメタルサーバー	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/baremetal-server/">https://sdpf.ntt.com/services/baremetal-server/</a>
サーバーインスタンス	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/server-instance/">https://sdpf.ntt.com/services/server-instance/</a>
イメージ管理	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/image-storage/">https://sdpf.ntt.com/services/image-storage/</a>
ブロックストレージ	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/block-storage/">https://sdpf.ntt.com/services/block-storage/</a>
ファイルストレージ	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/file-storage/">https://sdpf.ntt.com/services/file-storage/</a>
ハイパーバイザー	vSphere : <a href="https://sdpf.ntt.com/services/vsphere/">https://sdpf.ntt.com/services/vsphere/</a> Hyper-V : <a href="https://sdpf.ntt.com/services/hyper-v/">https://sdpf.ntt.com/services/hyper-v/</a>
Managed Firewall	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/managed-firewall/">https://sdpf.ntt.com/services/managed-firewall/</a>
Managed UTM	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/managed-utm/">https://sdpf.ntt.com/services/managed-utm/</a>
Managed WAF	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/managed-waf/">https://sdpf.ntt.com/services/managed-waf/</a>
Managed Anti-Virus	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/managed-anti-virus/">https://sdpf.ntt.com/services/managed-anti-virus/</a>

メニュー	SDPF 提供サービス一覧 参照先リンク
Managed Virtual Patch	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/managed-virtual-patch/">https://sdpf.ntt.com/services/managed-virtual-patch/</a>
Managed Host-based Security Package	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/managed-security-package/">https://sdpf.ntt.com/services/managed-security-package/</a>
Oracle	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/oracle/">https://sdpf.ntt.com/services/oracle/</a>
SQL Server	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/sql-server/">https://sdpf.ntt.com/services/sql-server/</a>
HULFT	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/hulft/">https://sdpf.ntt.com/services/hulft/</a>
Windows Server Remote Desktop Services SAL	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/rds-sal/">https://sdpf.ntt.com/services/rds-sal/</a>
Arcserve Unified Data Protection	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/arcserve/">https://sdpf.ntt.com/services/arcserve/</a>
DNS	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/dns/">https://sdpf.ntt.com/services/dns/</a>
WebRTC Platform Skyway	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/skyway/">https://sdpf.ntt.com/services/skyway/</a>
モニタリング	<a href="https://sdpf.ntt.com/services/monitoring/">https://sdpf.ntt.com/services/monitoring/</a>

メモ

- 無償でご利用いただける共通機能として、ライセンス認証用サーバーや NTP サーバーなどの機能を提供する共通機能プール、お客様テナントから共通機能プールへアクセスするためのゲートウェイである共通機能ゲートウェイが提供されます。
- 詳しくは、「SDPF 提供サービス一覧」の「[共通機能ゲートウェイ](#)」の章をご確認ください。

## 3. ネットワーク機能

### 3.1. 閉域ネットワーク接続機能

#### 3.1.1. ユーザーネットワーク接続

ユーザーネットワーク接続は、お客様がクラウド接続用に用意したネットワーク回線を本サービスの基盤へ接続するためのメニューです。本メニューを利用することで、フレッツ・VPN ワイド、フレッツ・VPN プライオ、ビジネスイーサ ワイドや、その他お客様がご用意されたネットワーク回線を経由して本サービスへ接続することができます。本メニューは一部のリージョンでのみご利用可能です。本メニューをご利用可能なリージョンは「表 1-3 メニューラインナップ(ネットワーク機能)」でご確認ください。

##### 3.1.1.1. 契約タイプ

ユーザーネットワーク接続では、お客様がクラウド接続用に用意したネットワーク回線の種類に応じて、以下の契約タイプを利用できます。

あわせて、契約タイプごとに推奨する NTT 東日本提供の NW サービスを下表に示します。

表 3-1 ユーザーネットワーク接続で利用可能な契約タイプと推奨 NW サービス (NTT 東日本)

契約タイプ		推奨 NW サービス (NTT 東日本)	
		VPN	アクセス回線
1	CPE 非対応	フレッツ・VPN ワイド	・フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ
		—	・ビジネスイーサ ワイド ・ビジネスイーサ プレミア
2	CPE 対応	フレッツ・VPN プライオ Managed SD-WAN	・フレッツ 光ネクスト ファミリー・ギガラインタイプ ・フレッツ 光ネクスト プライオ 1/プライオ 10

#### 重要

- お客様が用意するネットワークとしてフレッツ・VPN ワイドを用いる場合、ONU のタイプに「小型 ONU」を指定いただく必要があります。
- また、IP アドレス払い出し方法を「LAN 型払い出し」とする必要があります。
- Managed SD-WAN のタイプ II プランを用いることはできません。
- また、Managed SD-WAN を用いる場合、「3.1.1.11IP-IP トンネリング設定」をご利用いただくことができません。

### 3.1.1.2. 利用できる機能

ユーザーネットワーク接続では、以下の機能を利用できます。

表 3-2 ユーザーネットワーク接続で利用可能な機能

機能	概要	契約タイプ※1	
		CPE 非対応	CPE 対応
1 ONU 設置スペースの提供	お客様ご用意の回線が、NTT 東日本で提供する回線終端装置（以下 ONU）によって終端される場合、ONU を設置するスペースを提供します。	○	◎
2 CPE 設置スペースの提供	お客様ご用意の回線が、NTT 東日本で提供する ONU 以外によって終端される場合、終端機器（以下 CPE）を設置するスペースを提供します。	×	◎
3 ハウジング接続	お客様が借用されたハウジングスペース内ラックに搭載された機器と、本サービスの基盤との間を LAN ケーブルで接続するための機能を提供します。	○	×
4 回線収容インタフェースの提供	お客様ご用意の回線を 1 回線接続するためのポートを提供します。	◎	◎
5 VLAN 設定	お客様拠点と本サービスの基盤との間を VLAN 接続するための機能を提供します。	○	×
6 PPPoE 設定	お客様ご用意のネットワークと本サービスの基盤を PPPoE により接続するための機能を提供します。	○	×
7 ルーティング設定	お客様拠点と本サービスの基盤との間で通信させるためのルーティングを設定する機能を提供します。	◎	◎
8 IP-IP トンネリング設定	お客様拠点と本サービスの基盤との間で IP-IP トンネリングを設定する機能を提供します。	○	○

※1：契約タイプごとの機能提供可否。

◎：提供可（利用必須）、○：提供可（利用任意）、×：提供不可

#### 重要

- 本メニューを利用して、本サービス基盤上のサーバーをインターネットと接続することはできません。別途インターネット接続（3.4 インターネット接続ゲートウェイ機能）を申込み必要があります。
- 本メニューは、お客様のシステム環境や回線の混雑状況などにより伝送速度が変化するベストエフォート型サービスです。本サービス提供範囲（3.1.1.3 サービス提供範囲）での実

#### メモ

- 本メニューが対応するインターネットプロトコルバージョンは IPv4 です。

### 3.1.1.3. サービス提供範囲

ユーザーネットワーク接続における、サービス提供範囲を下記に示します。

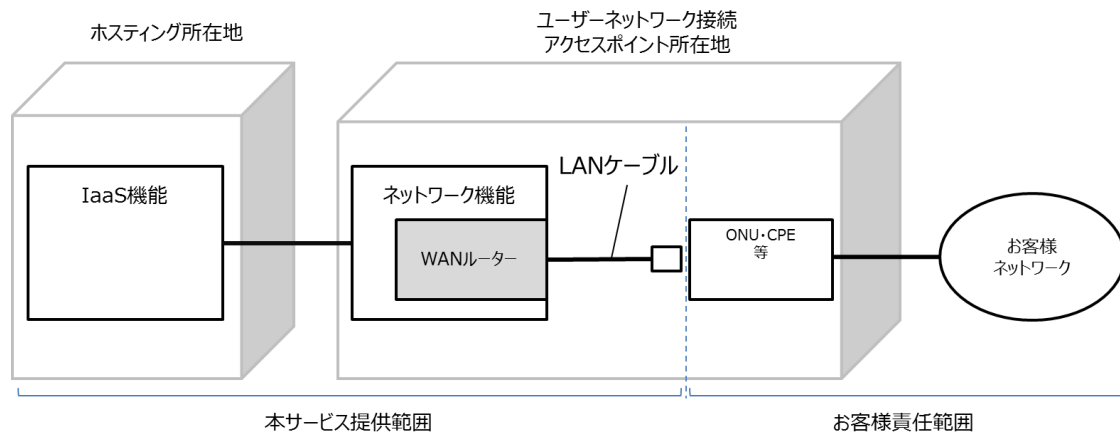


図 3-1 ユーザーネットワーク接続におけるサービス提供範囲（フレット・VPNワイド以外の場合）

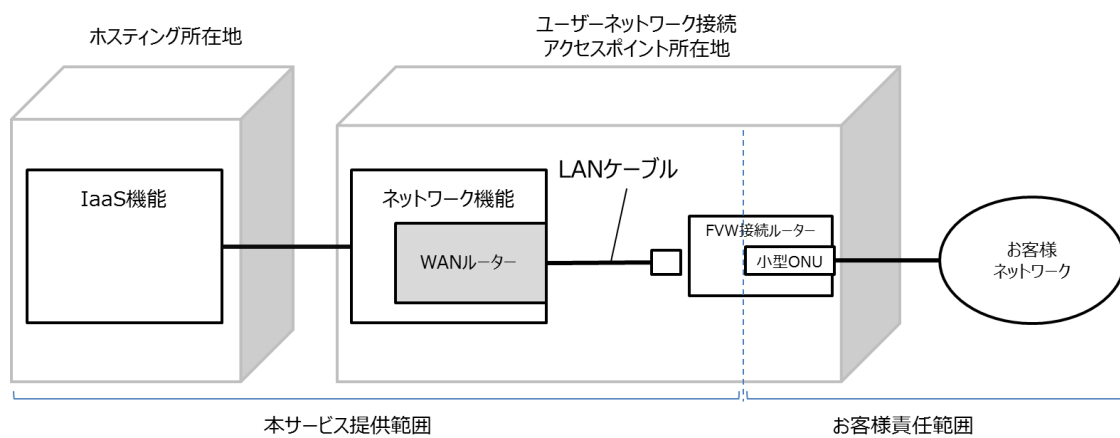


図 3-2 ユーザーネットワーク接続におけるサービス提供範囲（フレット・VPNワイドの場合）

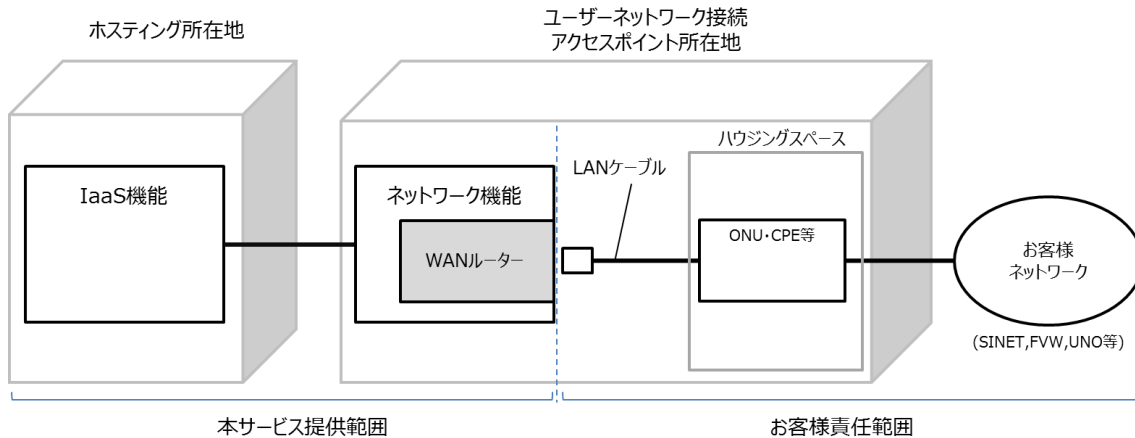


図 3-3 ユーザーネットワーク接続におけるサービス提供範囲（ハウジング接続の場合）

メモ

- ネットワーク機能と IaaS 機能の接続回線は、ユーザーごとのアクセス速度(帯域)を最大 100Mbps までとするポリシーでユーザーを収容しています。なお、運用状況により速度を変更させていただく場合がございます。

重要

- お客様ネットワーク（ONU・CPE 等）とネットワーク機能間の接続は冗長化されていません。



---

#### 3.1.1.4. ONU 設置スペースの提供

お客様ご用意の回線が NTT 東日本で提供する ONU によって終端される場合、ONU を 1 台設置するスペースを提供します。

ONU 設置スペースの提供条件は、NTT 東日本の NW サービスで提供されるレンタル ONU の仕様（サイズ、重量、電力容量制限）に準拠します。

##### 重要

- お客様ご用意の回線を終端する ONU の設置先は弊社が指定します。お客様にて指定頂くことはできません。
- お客様ご用意の回線としてフレッツ・VPN ワイドでお申込のお客様については、工事予定日の 3 営業日前までにフレッツ VPN ワイド参加設定を完了してください。
- 工事予定日以降に、お客様にてフレッツ VPN ワイドのカスタムコントロールの操作により本メニューの接続ができなくなってしまった場合、[クラウドゲートウェイサーバホスティングサービス故障受付窓口] まで下記情報と併せてご連絡ください。
  - ・ご契約社名
  - ・サービス契約 ID (CGH + 10 桁の番号)
  - ・フレッツアクセスサービスお客さま ID (「CAF」で始まる英数 13 桁の番号)

##### メモ

- お客様が設置する ONU と弊社で提供する回線収容インタフェース間の LAN ケーブル (1 本) の用意とその配線作業は、弊社で行います。
- NTT 東日本以外の NW サービスをご利用になる場合は、個別にご相談ください。

### 3.1.1.5. CPE 設置スペースの提供

お客様ご用意の回線を収容するための CPE を設置するスペースを提供します。

フレッツ・V P Nプライオや Managed SD-WAN のレンタル CPE を設置するスペースとしてご利用いただけます。

CPE 設置スペースの提供条件は、NTT 東日本の NW サービスで提供されるレンタル CPE の仕様（サイズ、重量、電力容量制限）に準拠します。

#### 重要

- 無線通信機器等、電波を発する機器は収容できません。
- NTT 東日本の NW サービスをご利用になる場合は、NTT 東日本が提供する ONU 及びフレッツ・V P Nプライオ、Managed SD-WAN のレンタル CPE 以外の機器は収容できません。
- CPE 設置先は弊社が指定します。お客様にて指定頂くことはできません。
- Managed SD-WAN の CPE と WAN ルーター間のケーブル接続において、CPE 側の LAN ポート#7 を使用します。CPE 設定の際はご留意願います。

#### メモ

- お客様が設置する ONU と CPE 間、CPE と弊社で提供する回線収容インタフェース間の LAN ケーブル（1 本）の用意とその配線作業は、弊社で行います。
  - NTT 東日本以外の NW サービスの場合、以下のいずれかの条件に該当する場合、本プランの利用ができません。
    - ・ルーター装置（あるいはそれに相当する機器）が、フレッツ・V P Nプライオ、Managed SD-WAN(タイプ I)のレンタル CPE よりサイズ（高さ：46mm、幅：323mm、奥行：248mm）、重量（2.5kg）、最大消費電力（60W）が大きい
    - ・回線終端装置がフレッツ 光ネクスト ファミリー・ギガラインタイプ、フレッツ 光ネクスト プライオ 1/プライオ 10 のレンタル ONU よりサイズ（高さ：130mm、幅：45mm、奥行：170mm）、重量（600g）、最大消費電力（15W）が大きい
    - ・通信キャリアによる遠隔メンテナンスが行えない
    - ・上記装置を工事日当日にお持込できない（データセンターでの事前受取はできません）
- 上記いずれの条件にも該当しない NTT 東日本以外の NW サービスのご利用を希望される場合は、個別にご相談ください。本機能のご利用ができない場合、「3.1.1.6 ハウジング接続」のご利用をご検討ください。
- インターネットへの接続を目的とするご利用は不可です。

### 3.1.1.6. ハウジング接続


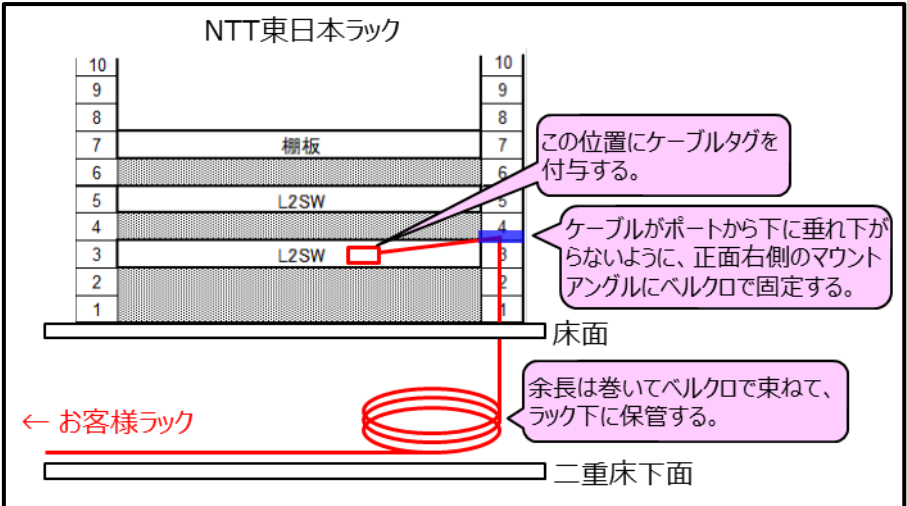
お客様が借用されたハウジングスペース内ラックに搭載された機器と、本サービスの基盤との間を LAN ケーブルで接続するための機能を提供します。

本機能をご利用いただくことで、「3.1.1.5CPE 設置スペースの提供」のご利用ができない、お客様ご用意のネットワーク回線をご利用して、本サービスの基盤へ接続いただくことが可能となります。

本機能のご利用条件を以下に示します。

表 3-3 ハウジング接続のご利用条件

分類	ご利用条件
ハウジングラック	お客様ご自身により、本サービスのアクセスポイントとなるデータセンターにて、ハウジングスペースのラックを借用してください。 本サービスにてラック借用の代行は行いません。
	お客様ラックの位置は問いませんが、本機能で提供する LAN ケーブルの接続インターフェースが、1000Base-T であるため、ラック間に敷設する LAN ケーブル長が（以降に記載した余長 3m 含めて）100m を越える位置にお客様ラックがある場合、本機能をご利用いただくことができません。
ラック間ケーブル	お客様ラックと弊社ラック間を一本の LAN ケーブルで接続してください。 ※LAN ケーブル故障時の切り分けを煩雑にしないため、パッチパネルを経由したり、複数のケーブルをつないで延長したりすることは許容しません。 ※経路冗長化のため、予備ケーブルを敷設する場合は、ユーザーネットワーク接続メニューを必要な予備ケーブル数分お申し込みください。 ※冗長化における経路切り替え方式はお客様にてご検討ください。
	LAN ケーブルの敷設および撤去は、お客様の責任のもと、データセンターの規定に従って、配線業者に委託してください。
	お客様側の機器への LAN ケーブルの接続/抜線は、お客様にて実施してください。 弊社側機器への接続/抜線は、弊社にて実施します。
	LAN ケーブルの敷設にあたって、弊社ラック下部から、接続機器までの余長を 3m としてください。

分類	ご利用条件												
ラック間ケーブル	<p>LAN ケーブルは以下の仕様に準拠するものをご用意ください。            ※仕様に準拠しない LAN ケーブルの敷設/接続は許容しません。</p> <table border="1" data-bbox="432 456 1361 701"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイプ</td> <td>ストレート/クロスいずれも可</td> </tr> <tr> <td>コネクタ形状</td> <td>RJ-45</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ</td> <td>CAT5e 以上</td> </tr> <tr> <td>色</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>タグ</td> <td>LAN ケーブル両端に下記のような事項を記載した結束バンドタイプのタグを付与</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="598 801 1334 1272" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>ケーブルタグ例</b></p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p><b>記載内容 (両面)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: red;">ラック番号 契約番号 ハウジング接続</p> <p style="text-align: center;">オモテ (クラウド側情報)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ラック番号 機器名 ポート番号</p> <p style="text-align: center;">ウラ (お客様側情報)</p> </div> <p style="font-size: small;">※下線部はお客様毎に異なります。            ※クラウド側は赤字で記載してください。</p> </div> </div> </div> <p>弊社ラックへは、以下イメージのように LAN ケーブルを敷設してください。</p> <div data-bbox="440 1350 1350 1854" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">NTT東日本ラック</p>  </div>	項目	仕様	タイプ	ストレート/クロスいずれも可	コネクタ形状	RJ-45	カテゴリ	CAT5e 以上	色	青	タグ	LAN ケーブル両端に下記のような事項を記載した結束バンドタイプのタグを付与
項目	仕様												
タイプ	ストレート/クロスいずれも可												
コネクタ形状	RJ-45												
カテゴリ	CAT5e 以上												
色	青												
タグ	LAN ケーブル両端に下記のような事項を記載した結束バンドタイプのタグを付与												

分類	ご利用条件
運用	<p>弊社では、LAN ケーブルの接続先として提供するネットワーク機器のポートの Link Up/Down の監視のみを行います。</p> <p>ネットワーク機器のポートの Link Down を検知した場合は、当該ポートをご利用するお客様へ故障連絡を行います。</p>
	<p>お客様の計画メンテナンス作業などにより Link Down が生じる場合は、事前に本サービスの故障受付窓口まで、下記情報と併せて監視静観依頼ご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約番号</li> <li>・要件（ハウジング接続の監視静観依頼）</li> <li>・静観開始日時</li> <li>・静観終了日時</li> </ul> <p>※恒久的な静観とする場合は、静観終了日時を未定としてください。</p>
	<p>ラック間を接続する LAN ケーブル故障時は、お客様責任のもと交換を実施してください。</p> <p>※弊社側機器の LAN ケーブルとの接続/抜線は、弊社にて実施します。</p> <p>※予備ケーブルの敷設がない場合、ケーブル交換完了までは通信不可となることをご承知ください。</p>

### 3.1.1.7. 回線収容インタフェースの提供

お客様ご用意の回線を 1 回線接続するためのポートを 1 ポート提供します。

表 3-4 回線収容インタフェースの提供条件

項目		提供条件
1	インタフェース仕様	・100BASE-TX ・1000BASE-T ※Auto Negotiation 設定あり
2	提供単位	1 ポート/1 回線

**重要**

- お客様ご用意の回線を収容するインタフェースは、ONU または CPE と同一のデータセンターにて提供します。お客様にて指定頂くことはできません。

### 3.1.1.8. VLAN 設定

お客様ご用意のネットワークとしてビジネスイーサ ワイド、ビジネスイーサ プレミアを利用する場合、お客様拠点と本サービスの基盤を VLAN で接続する機能を提供します。

表 3-5 VLAN 設定の提供単位

	機能	提供単位	提供上限値
1	VLAN 設定	1VLAN	32VLAN

**メモ**

- ユーザーネットワーク接続の 1 接続に対し、1VLAN の設定が可能です。
- 2VLAN 以上設定したい場合は、ユーザーネットワーク接続に必要な VLAN 数分申し込みください。
- 提供上限値は、ユーザーネットワーク接続、LGWAN 接続、SINET 接続の合計接続数に対する上限値となります。

### 3.1.1.9. PPPoE 設定

お客様ご用意のネットワークと本サービスの基盤を PPPoE 接続するための機能を提供します。

お客様ご用意のネットワークとしてフレッツ・V P N ワイドを利用する場合、お客様ご用意のネットワークとクラウド接続装置（表 3-7 ユーザーネットワーク接続の接続構成要素）間で PPPoE セッションを確立することができます。

表 3-6 PPPoE 設定の提供単位

	機能	提供単位	提供上限値
1	PPPoE 設定	1 PPPoE セッション	32 PPPoE セッション

メモ

- ユーザーネットワーク接続の 1 接続に対し、1 PPPoE セッションの設定が可能です。
- PPPoE マルチセッションの利用が可能です。
- 2 PPPoE セッション以上設定したい場合は、ユーザーネットワーク接続に必要な PPPoE セッション数分申し込みください。
- 提供上限値は、ユーザーネットワーク接続、LGWAN 接続、SINET 接続の合計接続数に対する上限値となります。
- お客様ご用意のフレッツ・V P N ワイド 1 回線ごとの提供上限値は、5 PPPoE セッションまでになります。

### 3.1.1.10. ルーティング設定

お客様拠点と本サービスの基盤との間で通信させるためのスタティックルーティングを設定する機能を提供します。

#### ① 接続構成

ユーザーネットワーク接続では、本サービス基盤上のお客様テナントとお客様拠点を接続するために「クラウド接続装置」と「VPN 接続ゲートウェイ」あるいは「Flexible InterConnect 接続ゲートウェイ（以下、「FIC 接続ゲートウェイ」とします。）」を経由する構成となっています。

表 3-7 ユーザーネットワーク接続の接続構成要素

構成要素		概要
1	クラウド接続ネットワーク	お客様拠点から本サービスの基盤へ通信するための、お客様ご用意のネットワーク。
2	クラウド接続装置 (WAN ルーターおよび FVW 接続ルーター)	本サービスの基盤へクラウド接続ネットワークを収容するための機能を提供する装置。 ※FVW 接続ルーターは、フレックス・VPN ワイド利用時のみ提供。
3	クラウド接続セグメント	クラウド接続装置と VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイの接続に利用するセグメント。
4	VPN 接続ゲートウェイ /FIC 接続ゲートウェイ	クラウド接続装置と、ロジカルネットワークとを接続するための機能を提供する機器。
5	ロジカルネットワーク	VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイとお客様テナントの接続に利用するロジカルネットワーク。お客様にて接続するロジカルネットワークを設定することができます。

#### 重要

- ユーザーネットワーク機能 1 つの利用につき、ロジカルネットワークが 1 つ必要です。



メモ

- クラウド接続ネットワークにおいて PPPoE 接続を行う場合は、接続される PPPoE セッション単位でクラウド接続ネットワークの接続数をカウントします。
- VPN 接続ゲートウェイおよび FIC 接続ゲートウェイは、冗長化された物理機器（装置、配線）で構築されています。
- VPN 接続ゲートウェイおよび FIC 接続ゲートウェイは、お客様のシステム環境や回線の混雑状況などにより伝送速度や転送遅延(Round Trip Time)が変化するベストエフォート型サービスです。
- VPN 接続ゲートウェイは、2022 年 11 月 31 日新規提供終了（2023 年 3 月 31 日 提供終了予定）となります。
- FIC 接続ゲートウェイは、2022 年 12 月 1 日より提供開始します。2022 年 12 月 1 日以降に本メニューを新規開通するお客様は、FIC 接続ゲートウェイでの接続となります
- FIC 接続ゲートウェイがモニタリングメニューの対象外であることが、VPN 接続ゲートウェイと FIC ゲートウェイの提供機能差分となります。

ユーザーネットワーク接続でとりうる接続構成を下記に示します。

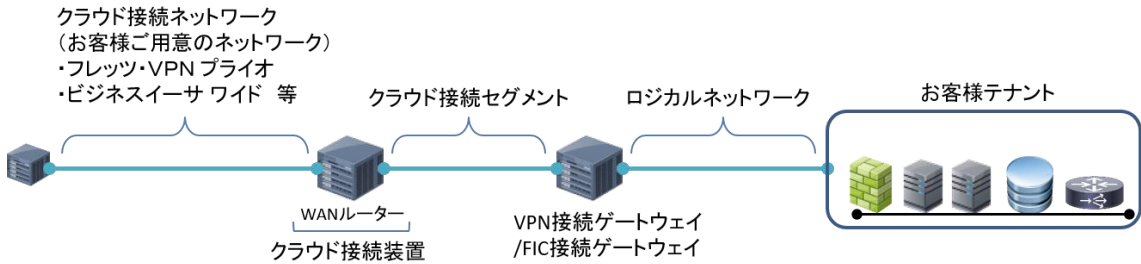


図 3-4 ユーザーネットワーク接続構成図 (フレッツ・VPNワイド以外の場合)

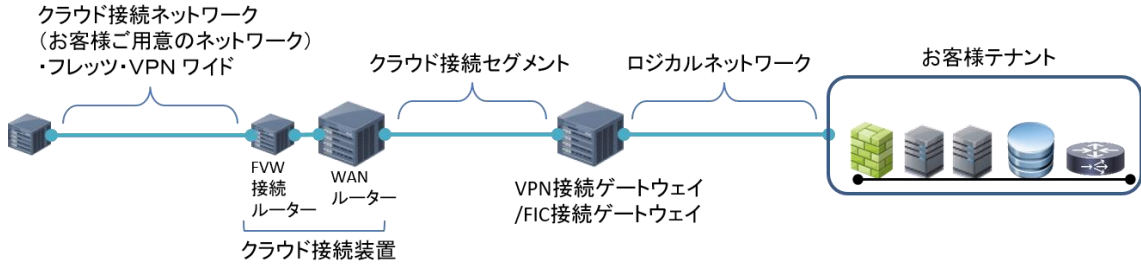


図 3-5 ユーザーネットワーク接続構成図 (フレッツ・VPNワイドの場合)

## ② ルーティング設計

ユーザーネットワーク接続では、申し込み時の指定およびポータル操作にてルーティング設定に関する設定を指定いただく必要があります。

表 3-8 ユーザーネットワーク接続 ルーティング設定項目

項目	概要	IP アドレス ブロック プレフィックス長	スタティック ルーティング 設定上限値
クラウド接続セグメントの設定	クラウド接続セグメントの設定に利用する IP アドレスブロックを設定します。	/24	
クラウド接続装置のルーティング設定	クラウド接続ネットワークとお客様テナント間の通信を可能にするためのルーティングを設定します。	/32~/1	40 経路
VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイのルーティング設定		/32~/1	32 経路

### 1) クラウド接続セグメントの設定

- クラウド接続セグメントには、お客様で指定したクラウド接続ネットワークの IP アドレスブロックが割り当てられます。
- クラウド接続装置に割り当てられる IP アドレスは、クラウド接続セグメント用にお客様で指定した IP アドレスブロックから、弊社が IP アドレスを選択して設定します。

### 2) クラウド接続装置のルーティング設定

- お客様テナントからクラウド接続ネットワークへ通信するために、お客様が指定したクラウド接続ネットワークを送信先としたスタティックルーティングを弊社が設定します。

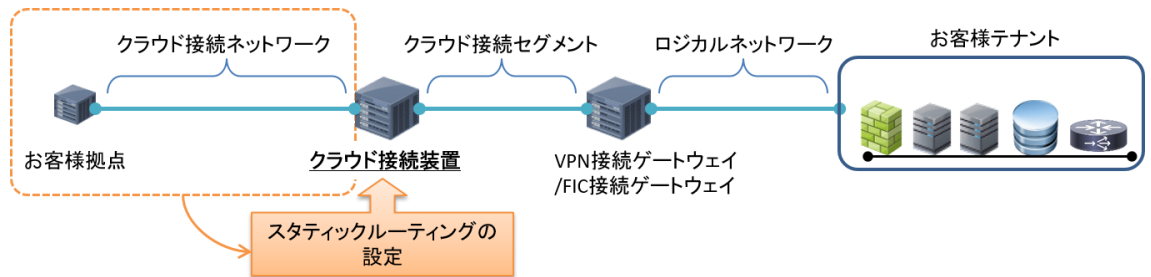


図 3-6 クラウド接続装置のルーティング設定イメージ

### 3) VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイのルーティング設定

- クラウド接続ネットワークからお客様テナントへ通信するために、お客様のポータル操作によりスタティックルーティングを設定できます。

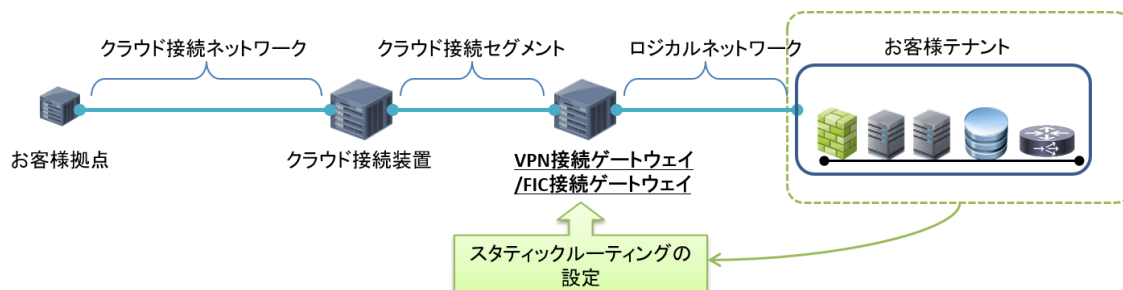


図 3-7 VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイのルーティング設定イメージ

#### 重要

- ルーティング設定でお客様が指定する各種 IP アドレスブロック/IP アドレスには、指定もしくは包含できない以下の IP アドレスがあります。
  - 弊社設備利用の IP アドレス帯「10.250.0.0～10.255.255.255」
  - クラウド接続セグメントのうち、「WAN 接続・パラメータシート」記載の以下アドレス
    - WAN ルーターWAN 側割り当てアドレス(VIP 用 IP アドレス、ACT 用 IP アドレス、STB 用 IP アドレス)
    - CPE LAN 側 IP アドレス※ 記入値を元にした払出のため、ご確認漏れのないようご注意ください。
- SDPF 提供サービス一覧の「[ロジカルネットワーク](#)」の詳細情報ページの制約事項に記載の登録不可 IP アドレス帯
- 上記アドレスは、お客様テナント、拠点側ネットワークでのご利用もできません。

### 3.1.1.11. IP-IP トンネリング設定

お客様拠点と本サービスの基盤との間で IP-IP トンネリングを設定する機能を提供します。

フレッツV P N・ワイドなどを利用する場合で、トンネリングが必要な場合に、お客様拠点ルーターとクラウド接続装置間で IP-IP トンネリングを確立することができます。

表 3-9 IP-IP トンネリング設定の提供単位

機能	提供単位	提供上限値
1 IP-IP トンネリング設定	1 トンネル	16 トンネル

#### 重要

- クラウド接続用回線にフレッツ・V P N ワイドをご利用の場合、IP アドレス払い出し方法を「LAN 型払い出し」とする必要があります。
- 本サービスの基盤側での IP-IP トンネルソースアドレスの 4 オクテット目は“2”固定となっています。ネットワーク設計上、ご注意ください。
- 通常、WAN ルーターは、冗長化されていますが、IP-IP トンネルの切り替えは、行われませんので、WAN ルーターが、単一障害点となります。

#### メモ

- お客様拠点と本サービスの基盤との間で IP-IP トンネリングではなく、IPsec トンネリングを利用したい場合は、「3.7 ファイアウォール機能」をご利用ください。

### 3.1.1.12. 提供単位

表 3-10 ユーザーネットワーク接続メニューの提供単位

プラン	提供最小値	提供最大値	増設単位
CPE 非対応	1[接続]	32[接続] <sup>※1</sup>	1[接続]
CPE 対応	1[接続]	32[接続] <sup>※1</sup>	1[接続]

※1 ユーザーネットワーク接続、LGWAN 接続、SINET 接続の合計接続数に対する上限値となります。

### 3.1.1.13. 注意事項

- ・ 保守・監視のために、ユーザーネットワーク接続の設定を変更する場合があります。弊社で設定した内容については、お客様は設定を変更・削除することはできません。

- 
- ・ ユーザーネットワーク接続の設定を変更する際、通信断が発生する場合があります。
  - ・ CPE 非対応から CPE 対応のようなプランの変更を行う場合、それぞれのプランの廃止、追加をお申込ください。IP-IP トンネルをご利用の場合、廃止、追加を併せてお申込ください。
  - ・ IP-IP トンネルの設定変更工事の場合、お客様拠点ルーターなどの設定変更を連携して変更しないとクラウドとの通信が不可となる事態が発生することがあります。このような事態とならないように、プランの変更や IP-IP トンネルの設定変更のようにお客様拠点での設定変更を伴う工事の場合、本サービス側の工事日程を考慮した上でお客様側工事計画を策定ください。

## 3.2.LGWAN 接続機能

LGWAN 接続機能は、地方公共団体情報システム機構（以下、J-LIS）が運営する総合行政ネットワーク（以下、LGWAN）と本サービスの基盤の接続を行うメニューです。本メニューを用いて、LGWAN 上で行政向けのアプリケーションサービスを展開したい自治体様や SIer 様向けのメニューです。本メニューは一部のリージョンでのみご利用可能です。本メニューをご利用可能なリージョンは「表 1-3 メニューラインナップ(ネットワーク機能)」でご確認ください。

### 重要

- 本メニューを利用しシステムを構築するお客様は、J-LIS で規定している「統合行政ネットワーク ASP 基本要綱」に準拠いただくことが前提となります。
- 「統合行政ネットワーク ASP 接続技術仕様書」は、お客様ご自身で J-LIS より入手してください。
- LGWAN 接続機能をご利用のお客様は、ユーザー向けポータルの利用に制限があります。詳しくは、「3.2.5 LGWAN ユーザー向けポータル操作代行」を参照してください。なお、ご利用にあたっての制限はございますが、別途お申込みいただくことでポータルはご利用いただけます。詳しくは、「3.2.7 LGWAN ユーザー向けポータル公開」をご参照ください。
- 本サービスは、J-LIS で規定している「統合行政ネットワーク ASP 接続技術仕様書」に則り、弊社で LGWAN 接続に係わる NW 接続全体の構成を把握する必要があります。そのため、本サービスとは異なるクラウド等に構築したアプリケーションサービスを提供するシステムを LGWAN へ接続するための中継点として本サービスを利用することを禁止します。また、行政向けのアプリケーションサービスを提供するうえでアプリケーションが動作するサーバーを本サービス内に構築して頂く必要があります。
- LGWAN 接続機能をご利用のお客様は、API をご利用いただけません。API 利用を必須とするモニタリング機能のカスタムメーター等もご利用いただけませんのでご注意ください。

### 3.2.1. LGWAN 接続タイプ

LGWAN 接続機能では以下の接続タイプを利用できます。

表 3-11 LGWAN 接続機能で提供可能な接続タイプ

接続タイプ		概要
1	IP アドレス接続	LGWAN 内の拠点から、LGWAN サービス名 (FQDN) を宛先として、本サービスの基盤上の公開サーバーに接続するための機能を提供します。 本接続タイプの利用は、HTTP(tcp/port80)、HTTPS(tcp/port443)、DNS(tcp、UDP/port53)、LDAP(tcp/port389)、NTP(tcp/port123)プロトコルで通信したい場合のみに限定されます。 上述に記載以外のプロトコルを利用されたい場合は、事前にご相談ください。
2	トンネリング接続	LGWAN 内の拠点から、暗号化トンネルにより本サービスの基盤上の公開サーバーに接続するための機能を提供します。 本接続タイプの利用は、HTTP(tcp/port80)、HTTPS(tcp/port443)、DNS(tcp、UDP/port53)、LDAP(tcp/port389)、NTP(tcp/port123)プロトコル以外で通信したい場合となります。

#### メモ

- IP アドレス接続とトンネリング接続を併用することは可能です。
- 本メニューの契約とあわせて、閉域ネットワーク接続、あるいはインターネット接続のプランいずれか 1 つ以上の契約が必要です。

#### 重要

- 本メニューの提供には J-LIS への接続申請が必要となり、その代行申請を NTT 東日本が行います。
- 本メニューの提供においては、お客様システムの構成を事前に J-LIS に確認する必要があります。
- LGWAN 公開サーバー用にアプリケーション証明書の発行を希望する場合、NTT 東日本が J-LIS に申請します。  
※アプリケーション証明書は 3 年毎に更新が必要です。  
※通常は 1 ヶ月程度でアプリケーション証明書は発行されますが、J-LIS への申請が集中した場合は、さらに時間を要する場合がございます。
- 公開サーバー用の証明書の設定作業については、お客様で実施頂きます。
- お客様システムを構成する仮想サーバーは、直接、間接問わず LGWAN 上の NTP サーバーと同期が必要です。

### 3.2.2. サービス提供範囲

LGWAN 接続機能におけるサービス提供範囲を下記に示します。

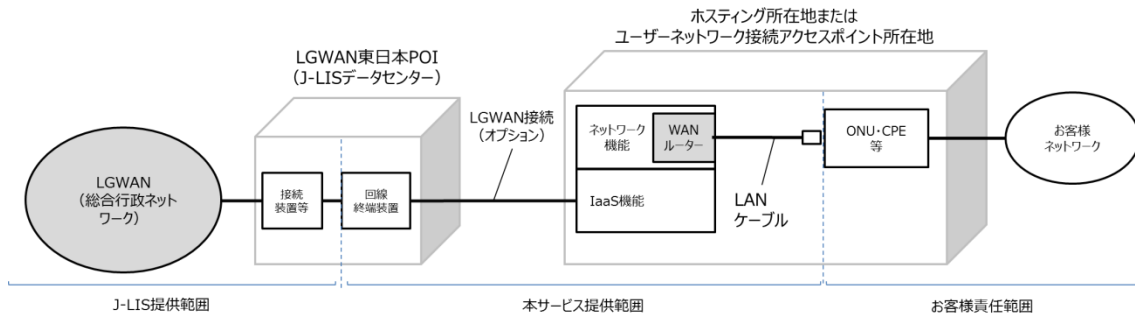


図 3-8 LGWAN 接続におけるサービス提供範囲



### 3.2.3. IP アドレス接続

#### 3.2.3.1. 利用できる機能

IP アドレス接続では、以下の機能を提供します。

表 3-12 IP アドレス接続で提供する機能

機能		概要
1	LGWAN 接続ネットワークの提供	本サービスの基盤と LGWAN を接続するネットワークを提供します。
2	LGWAN グローバル IP アドレス設定	LGWAN に公開するサーバーを構築するために、本サービスの基盤に構築した仮想サーバーに対し、J-LIS から払い出された LGWAN サービス名 (FQDN) を宛先として接続するための機能を提供します。

#### メモ

- LGWAN に公開する仮想サーバーに任意のホスト名を指定して公開が可能です。
- LGWAN 上での公開ドメインは「bhc.asp.lgwan.jp」です。
- ホスト名には、「\*\*\*.\*\*\*.bhc.asp.lgwan.jp」のようにサブドメインの指定も可能です。
- 1 つの LGWAN 接続ネットワークに対し、複数の LGWAN サービス名 (FQDN) の設定が可能です。

#### 重要

- 本サービスを利用する LGWAN ドメイン内でホスト名を重複することはできません。
- LGWAN 接続ネットワークを利用するには、1 つの LGWAN サービス名 (FQDN) の設定が必要です。

### 3.2.3.2. LGWAN 接続ネットワークの提供

IP アドレス接続では、お客様テナントのロジカルネットワークと LGWAN を接続するための LGWAN 接続ネットワークを提供します。

LGWAN 接続ネットワークのアクセス速度（帯域）は 100Mbps ベストエフォートです。なお、運用状況により速度を変更させていただく場合がございます。

#### ① 接続構成

LGWAN 接続ネットワークは、「LGWAN 専用ルーター」、「LGWAN 専用ファイアウォール」、「WAN ルーター」、「VPN 接続ゲートウェイ」あるいは「Flexible InterConnect 接続ゲートウェイ（以下、「FIC 接続ゲートウェイ」とします。）」を経由する構成となっています。

IP アドレス接続をご利用時の構成を下図に示します。

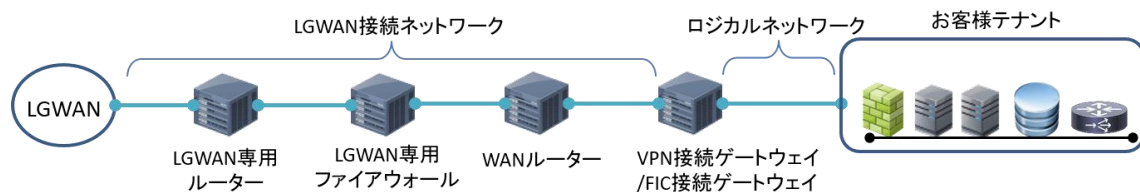


図 3-9 IP アドレス接続の構成図

#### ② LGWAN 専用ルーター

LGWAN と本サービス間の通信を可能とするためのルーティングや NAT 機能を提供する機器です。LGWAN 専用ルーターの設定は弊社からの申請に基づき J-LIS にて行います。お客様にて LGWAN 専用ルーターの設定を変更することはできません。

#### ③ LGWAN 専用ファイアウォール

LGWAN と本サービス間の通信に対しファイアウォールやルーティング機能を提供するための機器です。お客様の指定によるサービスレベルでのアクセス制限の設定が可能です。

表 3-13 LGWAN 接続ネットワーク LGWAN 専用ファイアウォールのアクセスリスト提供単位

項目	提供単位	提供上限値
LGWAN 専用ファイアウォールのアクセスリスト設定	20 アクセスリスト	100 アクセスリスト

#### ④ WAN ルーター

LGWANと本サービス間の通信を可能とするための、スタティックルーティング機能を提供する機器です。WAN ルーターの設定は弊社にて行います。お客様にて WAN ルーターの設定を変更することはできません。

表 3-14 LGWAN 接続ネットワーク WAN ルーター設定項目

項目	IP アドレスブロック プレフィックス長	スタティックルーティング 設定上限値
WAN ルーターのルーティング設定	/32~/1	40 経路

#### ⑤ VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイ

WAN ルーターとお客様テナントを接続するゲートウェイ機能を提供する機器です。

WAN ルーターからお客様テナントへ通信するために、スタティックルーティングを設定できます。VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイの設定は弊社にて行います。お客様にて VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイの設定を変更することはできません。

表 3-15 LGWAN 接続ネットワーク VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイ設定項目

項目	IP アドレスブロック プレフィックス長	スタティックルーティング 設定上限値
VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイのルーティング設定	/32~/1	32 経路

#### メモ

- VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイは、お客様のシステム環境や回線の混雑状況などにより伝送速度や転送遅延(Round Trip Time)が変化するベストエフォート型サービスです。
- VPN 接続ゲートウェイは、2022 年 11 月 31 日新規提供終了（2023 年 3 月 31 日 提供終了予定）となります。
- FIC 接続ゲートウェイは、2022 年 12 月 1 日より提供開始します。2022 年 12 月 1 日以降に本メニューを新規開通するお客様は、FIC 接続ゲートウェイでの接続となります。
- FIC 接続ゲートウェイがモニタリングメニューの対象外であることが、VPN 接続ゲートウェイと FIC 接続ゲートウェイの提供機能差分となります。

---

**重要**

- LGWAN 接続ネットワーク 1 つの利用につき、ロジカルネットワークが 1 つ必要です。

### 3.2.3.3. LGWAN グローバル IP アドレス設定

LGWAN に公開するサーバーを構築するために、本サービスの基盤上に構築した仮想サーバーに対し、J-LIS から払い出されたグローバル IP アドレス（以下 LGWAN グローバル IP アドレス）を宛先として接続するための NAT 機能を提供します。

お客様が指定した LGWAN サービス名（FQDN）とその NW アドレス変換先となる仮想サーバーまたはロジカルネットワークの IP アドレスを元に、LGWAN 専用ルーター/LGWAN 専用ファイアウォールに対し NAT 設定を行います。

対応する NAT 変換方式は下表のとおりです。

表 3-16 LGWAN グローバル IP アドレス NAT 変換方式

変換方式	概要
送信元（Source） NAT	送信元アドレスを変換する方式 送信元アドレスの変換先としてプールアドレスの指定が可能
宛先（Destination） NAT	宛先アドレスを変換する方式 宛先アドレスの変換先としてプールアドレスの指定が可能
静的（Static） NAT	1 対 1 で常に同じアドレス同士を変換する方式
IP マスカレード（NAPT）	ポート番号を利用することで、1 つのグローバル IP アドレスと複数のプライベート IP アドレスを変換する方式

### 3.2.3.4. 提供単位

表 3-17 IP アドレス接続メニューの提供単位

プラン	提供最小値	提供最大値	増設単位
LGWAN 接続ネットワーク	1[接続]	1[接続]	-
LGWAN IP アドレス	1[IP アドレス]	なし	1[IP アドレス]

### 3.2.4. トンネリング接続

#### 3.2.4.1. 利用できる機能

トンネリング接続は、LGWAN 内の拠点から暗号化トンネルにより本サービスの基盤上の公開サーバーに接続するための機能を提供します。

表 3-18 トンネリング接続で提供する機能

機能		概要
1	トンネリング設定	LGWAN 内の拠点から暗号化トンネルにより本サービスの基盤上の公開サーバーに接続するための機能を提供します。

**重要**

- 1 トンネリング接続で提供可能なトンネル数は最大 400 トンネルです。  
※2023 年 6 月以降、最大 70 トンネルとなります。
- 接続先となる LGWAN 内の拠点ごとにトンネルが必要です。
- トンネリング接続を利用するには、LGWAN グローバル IP アドレスが必要です。1 トンネリング接続のお申込あたり 1 つの LGWAN グローバル IP アドレスを提供します。複数のトンネリング接続へ同一のグローバル IP アドレスを設定したり、1 トンネル接続へ複数の LGWAN グローバル IP アドレスを設定したりすることはできません。
- 5 トンネル未満で利用の場合は、本メニューのプラン「70 プラン」の「5 トンネル」をお申込ください。

### 3.2.4.2. トンネリング設定

トンネリング接続では、お客様テナントのロジカルネットワークと LGWAN を接続するために「LGWAN 専用ルーター」、「LGWAN 専用ファイアウォール」、「LGWAN 専用 VPN 装置」、「WAN ルーター」、「VPN 接続ゲートウェイ」あるいは「Flexible InterConnect 接続ゲートウェイ（以下、「FIC 接続ゲートウェイ」とします。）」を経由する構成となっています。

トンネリング接続をご利用時の構成を下図に示します。

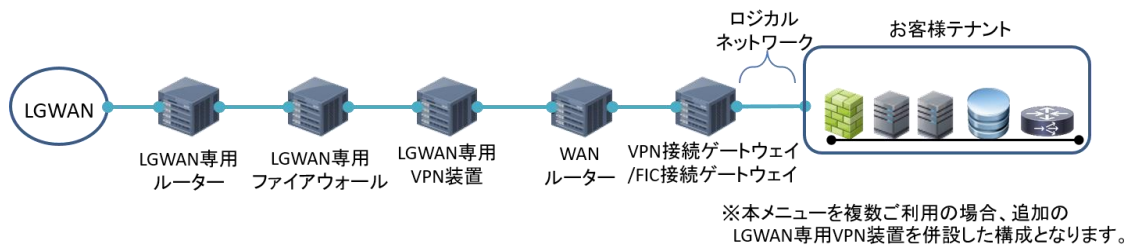


図 3-10 トンネリング接続の構成図

① LGWAN 専用ルーター

「3.2.3.2 LGWAN 接続ネットワーク ②LGWAN 専用ルーター」を参照してください。

② LGWAN 専用ファイアウォール

「3.2.3.2 LGWAN 接続ネットワーク ③LGWAN 専用ファイアウォール」を参照してください。

### ③ LGWAN 専用 VPN 装置

LGWAN 専用 VPN 装置は、お客様拠点（自治体）の VPN 装置と暗号化トンネルを確立する機能およびルーティング機能を提供します。本メニューでは LGWAN 専用 VPN 装置として、Sophos UTM SG および Sophos XGS Firewall を提供します。本メニューお申し込みの際にご利用機種をご指定下さい。（2023 年 3 月以前に本メニューをご利用の場合の提供機種は Sophos UTM SG となります。）

#### 重要

- Sophos UTM SG での本メニュー新規ご利用の受付は 2023 年 5 月 31 日で終了の予定です。
- Sophos UTM SG での本メニューの提供は 2026 年 4 月 30 日で終了の予定です。
- 本メニューを Sophos XGS Firewall でご利用の場合、本メニューで提供するのは 70 トンネルプランのみとなります。
- 本メニューを Sophos UTM SG でご利用のお客様がご利用機種を Sophos XGS Firewall へ移行するには、Sophos XGS Firewall をご指定して新たに本メニューのお申込みいただき、お客様拠点(自治体)側 VPN 装置の接続を切り替えて頂く必要がございます。

Sophos UTM SG および Sophos XGS Firewall の暗号化設定として、以下の項目の設定が可能です。

表 3-19 LGWAN 専用 VPN 装置 暗号化設定項目

※SG: Sophos UTM SG、XGS : Sophos XGS Firewall

機種	項目	概要
SG	暗号アルゴリズム	トンネリング設定で用いる暗号アルゴリズムを設定します。 下記のいずれかから選択してください。（初期値：i） i）AES-192-CBC（192 ビット） ii）AES-256-CBC（256 ビット） iii）BF-CBC（Blowfish（128 ビット））
	認証アルゴリズム	暗号化で用いる認証アルゴリズムを設定します。 下記のいずれかから選択してください。（初期値：i） i）MD5（128 ビット） ii）SHA1（160 ビット） iii）SHA2 256（256 ビット） iv）SHA2 384（384 ビット） v）SHA2 512（512 ビット）



機種	項目	概要
	鍵サイズ	<p>認証で用いる共通鍵のサイズを設定します。</p> <p>下記のいずれかから選択してください。(初期値：i)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 1024bit</li> <li>ii) 2048bit</li> </ul>
	鍵ライフタイム (秒)	<p>認証で用いる共通鍵のライフタイムを設定します。</p> <p>60 秒～86,400 秒で設定が可能です。(初期値：28,800 秒)</p>
XGS	暗号アルゴリズム	<p>トンネリング設定で用いる暗号アルゴリズムを設定します。</p> <p>下記のいずれかから選択してください。(初期値：vi)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) AES-128-GCM</li> <li>ii) AES-192-GCM</li> <li>iii) AES-256-GCM</li> <li>iv) AES-128-CBC</li> <li>v) AES-192-CBC</li> <li>vi) AES-256-CBC</li> <li>vii) DES-EDE3-CBC</li> <li>viii) BF-CBC (Blowfish (128 bit))</li> </ul>
	認証アルゴリズム	<p>暗号化で用いる認証アルゴリズムを設定します。</p> <p>下記のいずれかから選択してください。(初期値：v)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) MD5 (128 ビット)</li> <li>ii) SHA1 (160 ビット)</li> <li>iii) SHA2 256 (256 ビット)</li> <li>iv) SHA2 384 (384 ビット)</li> <li>v) SHA2 512 (512 ビット)</li> </ul>
	鍵サイズ	<p>認証で用いる共通鍵のサイズを設定します。</p> <p>下記のいずれかから選択してください。(初期値：ii)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 1024bit</li> <li>ii) 2048bit</li> </ul>
	鍵ライフタイム (秒)	<p>認証で用いる共通鍵のライフタイムを設定します。</p> <p>60 秒～86,400 秒で設定が可能です。(初期値：28,800 秒)</p>

メモ

●利用できるトンネリング方式は、「サイト間 SSL-VPN 方式 (L2 フォワーディング)」です。

**重要**

- お客様拠点（自治体）に設置される VPN 装置はお客様にて準備が必要です。
  - LGWAN 専用 VPN 装置に対しては、申込時にお客様が設定した設定項目に基づき、弊社が設定を行います。お客様拠点（自治体）に設置される VPN 装置との接続性の動作保証はできません。
  - 弊社により提供する LGWAN 専用 VPN 装置とお客様拠点（自治体）側 VPN 装置として動作確認済みの機種は、以下のとおりです。
    - ・ご利用機種が Sophos UTM SG の場合：  
Sophos UTM SG シリーズ
    - ・ご利用機種が Sophos XGS Firewall の場合：  
Sophos UTM SG シリーズおよび Sophos XGS Firewall シリーズ
  - 暗号化トンネル接続中の状態で、新たなトンネルの追加や既存トンネルの設定変更、または削除を行う場合、接続中のトンネルに対し、切断→再接続が発生します。切断→再接続は、1 トンネルの追加/削除/設定変更の都度発生します。
  - お客様拠点側 VPN 装置での認証にはトンネル単位に別々の証明書が必要です。本証明書については、別途弊社より提供します。
  - トンネルの暗号化設定変更が発生した場合は証明書の再発行が必要となります。
  - LGWAN 専用 VPN 装置の IP アドレスとお客様拠点（自治体）側 VPN 装置の IP アドレス、ならびに LGWAN 専用 VPN 装置とお客様拠点（自治体）側 VPN 装置間の暗号化トンネル確立に必要な仮想 IF に動的に払い出される IP アドレスブロックには、指定もしくは包含できない以下の IP アドレス帯があります。
    - ・弊社設備利用の IP アドレス帯「10.250.0.0～10.255.255.255」
    - ・クラウド接続セグメントのうち、「WAN 接続・パラメータシート」記載の以下アドレス
      - WAN ルーター-WAN 側割り当てアドレス(VIP 用 IP アドレス、ACT 用 IP アドレス、STB 用 IP アドレス)
      - CPE LAN 側 IP アドレス

※ 記入値を元にした払出のため、ご確認漏れのないようご注意ください。

  - ・Enterprise Cloud2.0 サービス説明書の「ロジカルネットワーク」制約事項に記載の登録不可 IP アドレス帯
- 上記アドレスは、お客様拠点側ネットワークでのご利用もできません。

④ WAN ルーター

「3.2.3.2 LGWAN 接続ネットワーク ④WAN ルーター」を参照してください。

⑤ VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイ

「3.2.3.2 LGWAN 接続ネットワーク ⑤VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイ」を参照してください。

### 3.2.4.3. 提供単位

表 3-20 トンネリング接続メニューの提供単位

提供最小値	提供最大値	増設単位
1[接続]	32[接続] <sup>※1</sup>	1[接続]

※1 ユーザーネットワーク接続、LGWAN 接続、SINET 接続の合計接続数に対する上限値となります。

表 3-21 1 トンネリング接続メニューのトンネル提供単位

提供最小値	提供最大値	増設単位
5[トンネル] <sup>※1</sup>	70[トンネル] <sup>※1</sup> 400[トンネル] <sup>※2</sup>	10 トンネルまでは 5[トンネル]単位 <sup>※1</sup> 10 トンネル以降 70 トンネルまでは 10[トンネル]単位 <sup>※1</sup> 100[トンネル]単位 <sup>※2</sup>

※1 70 プラン契約時

※2 400 プラン契約時(※2023 年 6 月以降、400 プランは提供終了となります。)

### 3.2.5. LGWAN ユーザー向けポータル操作代行

#### 3.2.5.1. ポータル操作代行の概要

本メニューを利用のお客様は、ユーザー向けポータルをお客様が直接操作することはできません。本メニューを利用しシステムを構築するお客様は、J-LIS で規定している「統合行政ネットワーク ASP 基本要綱」を準拠いただくことが必須となります。そのため、お客様テナント内のネットワーク構築やサーバーインスタンス、ファイアウォールなどの追加、設定などのポータル操作をお客様より個別工事(有償、実費請求)としてお申し込みいただき、弊社にて代行いたします。

なおユーザー向けポータル操作代行期間も本サービスの課金期間に含まれます。課金開始時刻は、弊社によるポータルからの申込時刻に準じます。

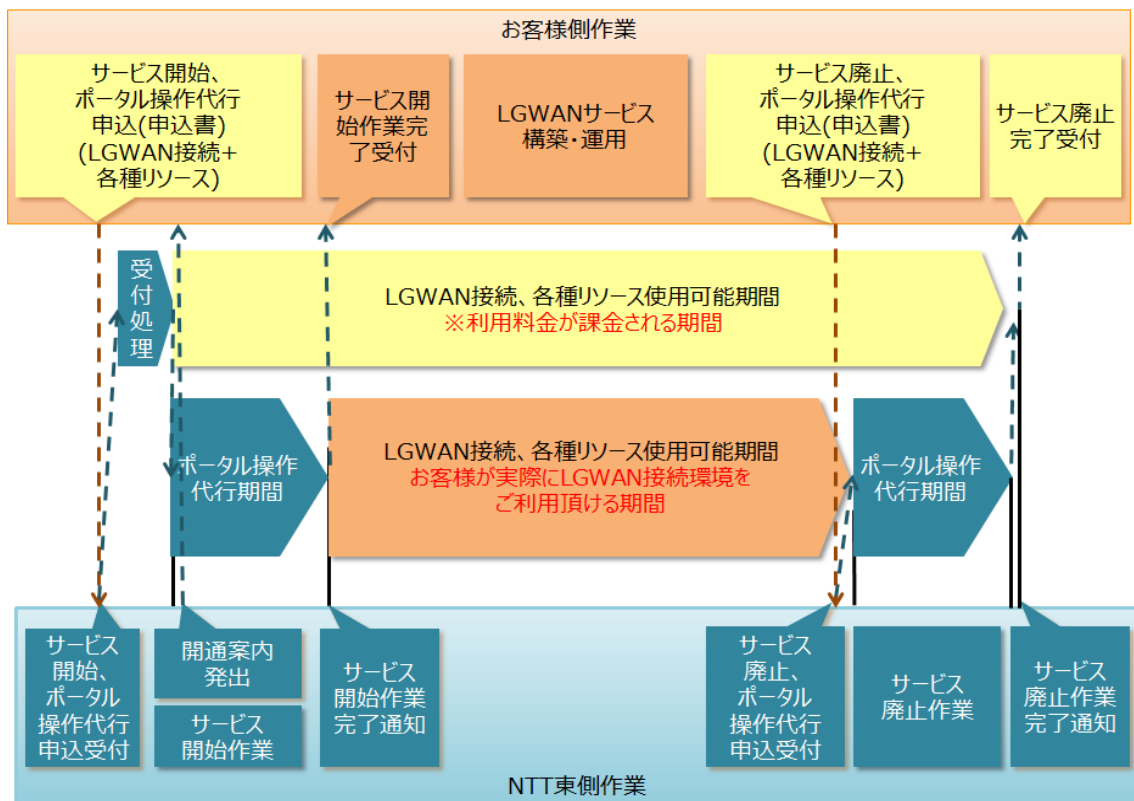


図 3-11 ポータル操作代行 課金期間

メモ

- 利用開始当初に LGWAN 接続を併せてお申し込み頂かない場合でも、LGWAN 接続利用を前提とすれば、本工事メニューをご依頼頂くことが可能です。

### 3.2.5.2. ポータル操作代行の設計について

ポータル操作代行は、お客様が設計した内容・作業要件を設計シート(構築代行設計パラメータシート)に記載いただき、それに基づいてポータル画面での操作作業を代行するものです。設定操作の代行であるため、システムの設計および必要な作業指示はお客様の対応範囲となります。

また、ポータル操作代行をご利用した場合、「図 3-12 設計シートの利用サイクル」のように、作業申込事項の記入と作業結果のフィードバック事項の追記を繰り返す事となります。

設計シートの版やその記載事項はお客様の責任において管理をお願いいたします。

(注意事項)

「3.2.7 LGWAN ユーザー向けポータル公開」を利用して、お客様自身で設定変更を実施した場合、次回ポータル操作代行申込にあたり、最新化した設計シート（お客様自身の設定変更も含む）を用いて申込をお願いいたします。

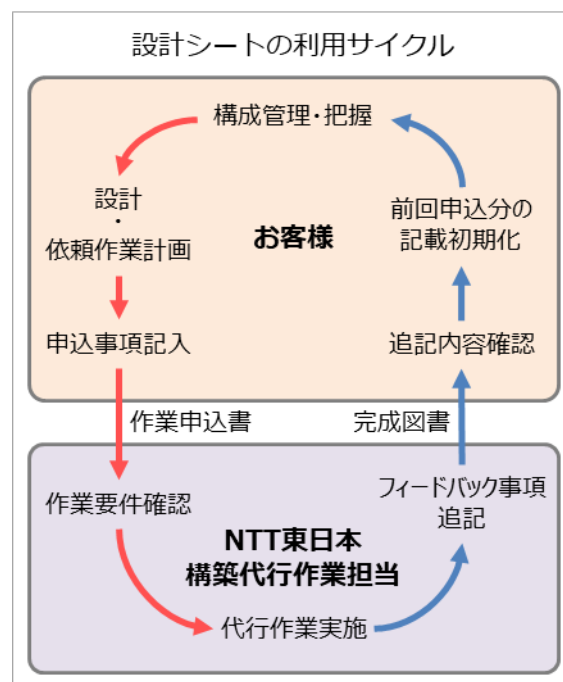


図 3-12 設計シートの利用サイクル

### 3.2.5.3. ポータル操作代行項目

「表 3-22 ポータル操作代行項目」のリソース・サービスについて、ポータル操作代行(構築代行作業)を承ります。

表 3-22 ポータル操作代行項目

ロジカルネットワーク
共通機能ゲートウェイ
インターネット接続・グローバル IP 取得
VPN 接続ゲートウェイ/Flexible InterConnect 接続ゲートウェイ
サーバーインスタンス(コンピュート・ボリューム) <ul style="list-style-type: none"><li>・ 新規サーバーインスタンス構築時に使用するテンプレートが Windows 系 OS のオフィシャルテンプレートの場合、日本語言語設定を含みます。</li><li>・ 新規サーバーインスタンス構築時に使用するテンプレートの OS が RHEL もしくは Ubuntu のオフィシャルテンプレートで、かつ複数のロジカル NW と接続する場合、OS 上での仮想 NIC 認識作業が必要となり、これを代行作業に含みます。ただし、お客様引き渡し後のサーバーインスタンスについては、代行作業では実施いたしかねます。お客様ご自身にて OS 上で仮想 NIC 認識作業の実施をお願いいたします。</li></ul>
イメージ管理(プライベートテンプレート/スナップショット/イメージ管理) <ul style="list-style-type: none"><li>・ プライベートテンプレートイメージの持込み作業は、「3.2.7 LGWAN ユーザー向けポータル公開」を利用してお客様自身にて実施する必要があります。</li></ul>
ブロックストレージ(IO 性能確保)
ファイルストレージ(スタンダード)
Managed FW/Managed UTM
ファイアウォール
ロードバランサー
Managed Load Balancer
モニタリング <ul style="list-style-type: none"><li>・ 代行作業においてはインスタンス死活監視のみ承ります。</li></ul>
DNS
ミドルウェアライセンス取得(HULFT、Arcserve)
NTP 参照設定 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 当オプションは LGWAN 上の NTP サーバーを参照する設定を行います。LGWAN 接続オプション新規構築時に、1 テナントにつきサーバーインスタンス 1 台のみ NTP サーバーの参照設定をいたします。他サーバーインスタンスからの被参照設定は含み</li></ul>

---

---

ません。他サーバーインスタンス間の NTP 参照設定・同期設定はお客様にて実施する必要があります。
---

リージョン間接続
----------

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ リージョン間接続（DIC）GW とロジカルネットワークを接続する設定を行います。</li><li>・ リージョン間接続のお申込みは、別途お客様自身にて行って頂く必要があります。</li></ul> |
|--|

各リソース・サービスにおいて操作可能な作業内容については「SDPF 提供サービス一覧 (<https://sdpf.ntt.com/services/>)」掲載の各メニューの「チュートリアル」および「詳細情報(サービス説明書)」に準じます。

また、各リソースの仕様や制約事項も当ドキュメントにてあらかじめご確認ください。

以下のポータル操作作業につきましては、

故障受付窓口までご依頼ください。（無償）

- ・ サーバーインスタンスの停止・起動作業
- ・ Managed FW/Managed UTM における再起動作業およびセキュリティインシデントレポートの取得作業
- ・ ロードバランサーにおける再起動およびパスワードリセット作業

#### 3.2.5.4. 制約事項

- ・ ポータル操作代行項目に記載の注釈事項を除き、サーバーインスタンスやロードバランサーの OS にログインしての操作など、ポータル操作そのもの以外の作業へは対応しておりません。
- ・ 新規構築時に対応している OS 内設定作業項目につきましても、お客様引き渡し後の操作代行は、お客様設定に対する影響を考慮できないことから承っておりません。
- ・ ポータル操作代行期間中でも緊急の場合は、「3.2.7 LGWAN ユーザー向けポータル公開」をご利用頂けますが、ポータル公開期間中はポータル操作代行作業を中断しますので、ポータル公開のご利用状況によりポータル操作代行の納期が遅延する場合がございます。
- ・ 申込受領から完了報告までの間は、該当リソースへのアクセスはご遠慮下さい。

---

## 3.2.6. ポータル操作代行におけるバックアップサービスの提供内容

### 3.2.6.1. 本サービスにおけるバックアップサービスの位置づけ

本サービスにおけるバックアップサービスは、障害によるデータ消失を最低限に抑えるための対策であり、障害によるサービス停止に備えるものでないことにご注意いただく必要がございます。

#### ① イメージバックアップ

サーバーインスタンスのスナップショットイメージを取得します。

インスタンス・ボリューム単位で、ある時点の状態を保存するのに適しています。以下のメリット、デメリットがございます。

- ・同一内容のVPS・ボリュームを手軽に複製・復元することが可能です。 …○
- ・リストア（デプロイ）にかかる一時費用が初期構築とほぼ同等となります。 …△

※LGWAN ユーザー向けポータル操作代行利用時

- ・スナップショットの作成時に、インスタンスの停止が必要となります。起動状態でスナップショットの作成を実行すると、作成したスナップショットにデータの不整合が発生し、スナップショットからのリソース作成が正常に行えない可能性がございます。 …△

- ・リストア実施のご依頼にお申込みが必要なため、障害からの復旧に時間を要します。 …×

※LGWAN ユーザー向けポータル操作代行もしくは LGWAN ユーザー向けポータル公開いずれかのお申込みとなります。

#### ② スケジュールバックアップ

サーバーインスタンスエージェントをインストールし、サーバーインスタンス全体やファイル・フォルダのバックアップを取得します。

スケジュールバックアップをご利用可能な本サービスが提供するメニューは、[Arcserve Unified Data Protection](#) となります。エージェントのインストール・バックアップ設定、リストアの実施は、LGWAN ユーザー向けポータル操作代行は対応していません。LGWAN ユーザー向けポータル公開を利用し、お客様にて実施ください。

サーバーインスタンス単位で、ファイルを定期的に自動で世代保存するのに適しています。以下のメリット、デメリットがございます。

- ・定期的・自動的にバックアップを取得することが可能です。 …○
- ・ファイル単位での復元をすることが可能です。 …○
- ・バックアップデータの保存先は、お客さまにてご用意いただく必要がございます。 …×

#### ③ 冗長構成化、その他



---

障害によるサービス停止を回避したり、抑制したりするのに適しています。以下のメリット、デメリットがございます。

- ・切替えに要する時間を極めて短時間に抑えることが可能となり、耐障害性を高めることが可能となります。 …○
- ・作業をお客様自身で実施したり、コントロールしたりすることが可能となります。 …○
- ・利用費用が連続的に発生いたします。 …×

### 3.2.6.2. イメージバックアップご利用時の注意点

イメージバックアップのご利用にあたり、以下のような注意点があることを留意願います。

- ・バックアップを取得したサーバーインスタンスのインスタンスやボリュームをそのまま残したまま、仮の IP アドレスでリストアさせる場合は、混在した構成を考慮した上で、共通機能ゲートウェイとのルーティングや ACL 等の設計を行う必要がございます。またこの場合、LGWAN ユーザー向けポータル公開利用によるお客様自身での作業は行って頂くことができません。LGWAN ユーザー向けポータル操作代行による作業申込みが必要となります。
- ・お客様作業により、ディスクパーティションや LVM など論理ボリューム構成を変更している場合は、リストア時にリストア先のサーバーインスタンスを同一の論理ボリューム構成にする必要があります。この構成変更はお客様作業であるため、弊社の代行作業として実施することができません。この場合、代行作業はリストア先のサーバーインスタンス作成までで一旦お引き渡しとなり、論理ボリューム設定を実施頂いた後に再度作業代行にてリストア作業を行います。そのため、本対応が必要な場合はリストア作業依頼時にお申し出頂く必要があります。

---

### 3.2.6.3. イメージバックアップの取得代行作業について

イメージバックアップの取得代行作業として以下を実施いたします。

なお、本作業は LGWAN ユーザー向けポータル公開利用によりお客様自身で行って頂くことも可能です。

- サーバーインスタンスのインスタンス（ルートディスク）、データボリューム、ルートボリュームの各バックアップイメージを取得（スナップショットを作成）し、イメージ保存領域に保存いたします。
- 取得の都度、作業依頼書にて取得作業のご依頼をお申し込いただきます（取得にあたっての、事前設定は不要です）。
- 取得実施の予定日時の前にお客様にてサーバーインスタンスの OS を停止していただきます。
- お申込受付から、標準で 5 営業日以内にバックアップイメージを取得いたします。取得日時を指定してご依頼いただくことも可能です。
- 取得したバックアップイメージの情報を依頼書（兼管理簿）に記載してお客様へフィードバックいたします。
- 取得のご依頼時に、併せて不要なバックアップイメージの削除をご依頼いただくことも可能です。

#### 重要

- バックアップイメージの取得結果などの情報は共有いたしますが、取得したバックアップイメージの正常性を弊社にて保証することはできません。そのため、別途必要に応じてリストア作業をご依頼いただくなど、お客様自身の責任において、取得したバックアップイメージの正常性を確認していただくようお願いいたします。
- イメージ保存領域の使用容量に応じた利用料が別途発生いたします。

#### 3.2.6.4. イメージバックアップからのリストア代行作業について

イメージバックアップからのリストア代行作業として以下を実施いたします。

- ・イメージ保存領域に取得されているバックアップイメージを基にして、新たにサーバーインスタンスのインスタンスおよびデータボリュームを作成いたします。
- ・リストア対象はインスタンス、ボリューム単位で指定いただくことが可能です。
- ・バックアップイメージの管理簿の記載内容を基に、リストアに使用するイメージをご指定いただきます。
- ・リストア作業の形態には以下の 2 タイプがございます(タイプ B はさらに 2 パターンとなります)。

##### ① イメージバックアップ 復旧作業 (タイプ A)

- ・バックアップイメージを取得したサーバーインスタンスのインスタンスやボリュームを削除後に、バックアップイメージから新たなサーバーインスタンスをデプロイする作業となります。
- ・デプロイ後のサーバーインスタンスのインスタンスへ各ボリュームを元のようにアタッチいたします。

##### ② イメージバックアップ 復旧作業 (タイプ B)

- ・バックアップイメージを取得したサーバーインスタンス (旧サーバーインスタンス) のインスタンスやボリュームを残したまま、仮のホスト名、IP アドレスでバックアップイメージから新たなサーバーインスタンスをデプロイする作業となります。
- ・作業は 2 段階で実施いたします。弊社にてデプロイしたサーバーインスタンス (新サーバーインスタンス) を引渡し後、お客様にて必要な作業を実施していただきます。お客様作業の完了をご申告していただいた後に、弊社にて残作業を実施いたします。
- ・残作業として、旧サーバーインスタンスのインスタンス、ボリュームを削除し、新サーバーインスタンスのホスト名、IP アドレスを再設定することで、新旧サーバーインスタンスの構成一式を置き換えます。もしくは、新サーバーインスタンスの構成一式の削除を行います。
- ・バックアップイメージ一式を用いたリストア後の構成としては、新サーバーインスタンス、旧サーバーインスタンスのどちらかが存在した状態としていただく必要がございます。新旧のサーバーインスタンスが混在した状態とすることには応じられません。
- ・リストア対象としなかったボリュームについては、リストア作業後に残ったサーバーインスタンスへアタッチいたします。

#### 重要

- 本代行作業は、あくまでも「復旧作業の代行」であり、バックアップイメージから正しく復元できているか等の保証はできません。作業後にはお客様自身の責任においてご確認ください。
- リストア作業の完了は、お申込をいただいてから標準で 2 営業日以内となります。タイプ B の残作業の完了は、お客様作業完了のご申告をいただいてから、さらに標準で 2 営業日以内となります。

## 3.2.7. LGWAN ユーザー向けポータル公開

### 3.2.7.1. ポータル公開の概要

本メニューご利用中のお客様の運用面の利便性向上を目的とし、お客様からの利用申告により、ポータルの利用用途、期間を限定してポータルを公開します。

初期構築、サーバー、NW 追加、ファイアウォール追加、設定等の追加、変更工事は従来通り、弊社が「3.2.5 LGWAN ユーザー向けポータル操作代行」にて実施します。

ポータルを公開した日を含めた 5 日間が、お客様がポータルをご利用いただける期間です。

ポータル公開の終了後、2 営業日以内に弊社にて監査を実施します。

監査にて是正が必要な事項を検出した場合は、お客様にて是正を実施していただきます。



図 3-13 ポータル公開イメージ

#### 重要

- 事前にポータル公開用のログイン ID をお申込み、ご用意いただく必要があります。（ポータル公開とログイン ID 作成を同時にお申込みいただけことはできません。）
- 緊急の場合、ポータル操作代行期間でもポータル公開をご利用いただくことは可能です。但し、ポータル操作代行作業を中断してポータル公開いたしますのでポータル公開のご利用状況によりポータル操作代行の納期が遅延する場合がございます。
- ポータル公開の利用をお申し込みいただいた日が、利用開始日となります。公開日を指定してのお申込みには対応しておりません。
- 監査結果の通知から 3 営業日以内に是正を実施いただき、完了をご連絡ください。
- 是正期限までに完了通知がいただけない場合、是正内容が不十分な場合、あるいは是正依頼に応じていただけない場合は、お客様のテナントと LGWAN との接続を切断いたします。また、以降のポータル公開やポータル操作代行をお申込みいただけなくなります。
- ポータル公開期間中に行われた設定変更内容を反映した構築代行パラメータシートの最新化を必ず実施いただくようお願いいたします。

### 3.2.7.2. ポータル公開用ログイン ID のお申込み

ポータル公開用ログイン ID のお申込みにあたっては、工事メニュー「ユーザー向けポータルのログイン ID 追加」をポータル公開用ログイン ID 作成専用の申込書をご利用いただきお申込みいただけます。合わせて「ユーザー向けポータルの IP アクセス制限設定変更」のお申込みも必要です。

メモ

- ログイン ID 名は、お客様にて指定いただくことが可能です。
- お申込みいただけるログイン ID 数の制限はありません。
- 開通案内による初期パスワードの通知は行いません。
- ポータル公開期間を除いては、お客様のテナントの操作を行う事はできません。API をご利用いただくこともできません。
- ポータル公開用の利用申込書を開通案内に合わせて提供いたします。

### 3.2.7.3. ポータルのご利用

ポータルのご利用にあたっては、利用申込書に必要事項をご記入いただき、故障受付窓口へご依頼ください。24 時間 365 日受付いたします。

ご利用開始日を含めた 5 日間がポータルをご利用いただける期間です。ご利用いただける期間満了後、ポータルからお客様のテナントへのアクセスを制限いたします。

ポータルのご利用にあたって、お客様が実施いただける操作、実施いただけない操作がございます。詳細は「表 3-23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作」をご確認ください。

表 3-23 ポータル利用時に実施可能な操作・不可能な操作

操作項目		操作可否
ネットワーク		
ロジカルネットワーク		
状態確認		可
ロジカルネットワークの作成		否
スタティックルーティングの設定		否
インターネット接続ゲートウェイ		
状態確認		可
インターネットゲートウェイの作成・設定		否
ゲートウェイインタフェースの設定		否
グローバル IP の払出し		否
スタティックルーティングの設定		否

操作項目		操作可否
	帯域設定	可
VPN 接続ゲートウェイ/Flexible InterConnect 接続ゲートウェイ		
	状態確認	可
	VPN 接続ゲートウェイ/Flexible InterConnect 接続ゲートウェイの作成	否
	ゲートウェイインタフェースの設定	否
	スタティックルーティングの設定	否
共通機能ゲートウェイ		
	状態確認	可
	共通機能ゲートウェイの作成	否
	共通機能ゲートウェイの設定	否
サーバーインスタンス		
	状態確認	可
インスタンスの新規作成		
	オフィシャルテンプレートからのインスタンス作成	否
	プライベート ISO イメージからのインスタンス作成	リストア時のみ可 <sup>※1</sup>
	ボリュームの作成・インスタンスへのアタッチ	可
インスタンスの操作		
	インスタンスの仮想 NIC 設定	リストア時のみ可
	追加 NIC の設定(RHEL)	リストア時のみ可
	OS の言語設定(Windows)	可
	初期パスワード設定	否
	OS ライセンスのアクティベーション	否
	インスタンスの停止・起動	可
インスタンスの変更		
	インスタンスのフレーバー変更	可
	NIC の削除・追加	否
	インスタンス名(ホスト名)変更	否
	ボリュームの拡張・削除・インスタンスからのデタッチ	可
	インスタンスの削除	リストア時のみ可 <sup>※2</sup>
モニタリング <sup>※5</sup>		
	モニタリングアラーム設定	可
	モニタリングのアラーム管理 (編集、削除)	可
	モニタリングのログ取得	可
イメージ管理		
イメージバックアップ		
	インスタンスのスナップショットの作成	可
	ボリュームのアタッチ・デタッチ	可
	ボリュームのイメージアップロード	可
	ルートボリュームのイメージアップロード関連作業	可
	プライベートテンプレート/ISO のアップロード	

操作項目		操作可否
	イメージ保存領域	可
	イメージの作成・削除・ダウンロード	可
イメージの共有		
	イメージ保存領域	可
	イメージ共有メンバーの編集（共有側テナントでの操作）	可
	共有メンバー追加の承認（被共有側テナントでの操作）	可
イメージのコピー		
	イメージのコピー	可
	イメージコピージョブの管理	可
ライセンススイッチ		
	イメージ保存領域	否
	イメージの作成 / OS 種別の選択	否
	ライセンス認証	否
ブロックストレージ		
	状態確認	可
	仮想ストレージの作成	否
	ボリュームの作成	可
	ボリュームの編集	可
	スナップショットの作成	可
	スナップショットの削除	可
	スナップショットからのリストア	可
コロケーション接続(CIC)		
	コロケーション接続(CIC)の情報参照	可
	論理的な接続の追加・削除	否
テナント間接続		
	ロジカル NW への共有申請	否
	共有ロジカル NW への VPS 接続	否
リージョン間接続		
	状態確認	可
	ネットワーク接続追加/削除	否
	アドレス設定	否
	スタティックルートの設定	否
ファイアウォール		
	状態確認	可
	ファイアウォールインスタンスの作成	リストア時のみ可 <sup>※1</sup>
	ファイアウォールインスタンスのインタフェース作成	否
	ロジカルネットワークの接続	否
	パスワードのリセット	可
	ファイアウォールの起動	可
	ファイアウォールの停止	可
	ファイアウォールの再起動	可

操作項目		操作可否
	コンソール	可
ロードバランサー		
	状態確認	可
	ロードバランサーインスタンスの作成	リストア時のみ可 <sup>※1</sup>
	ロードバランサーインスタンスのインタフェース作成	否
	ロジカルネットワークの接続	否
	VRRP の設定	否
	シスログ転送設定	否
	ロードバランサーのリポート	可
	Netscaler VPX コンソールのパスワードリセット	可
Managed Load Balancer		
	状態確認	可
	Managed Load Balancer インスタンス作成	否
	Managed Load Balancer インスタンスのインタフェース設定	否
	ロジカルネットワーク接続の設定	否
	ロードバランシングの設定・編集	可
	アクセスログ転送設定	否
	オペレーション履歴の閲覧	可
	システムアップデート	可
セキュリティグループ <sup>※6</sup>		
	状態確認	可
	セキュリティグループの作成・編集・削除	可
	セキュリティグループルールの追加・削除	可
ミドルウェア		
	Oracle	
	Oracle 導入	否
	SQL Server	
	SQL Server 導入	否
	HULFT	
	HULFT の新規・追加申込み	可
	HULFT の廃止申込み	可
	Windows Server Remote Desktop Services SAL	
	Windows Server Remote Desktop Services SAL 導入	否
	Arcserve	
	Arcserve のライセンス手続き	可
DNS		
	ゾーンとレコードセットの操作	
	ゾーンの作成	可
	ゾーンの削除	可
	レコードセットの作成	可



操作項目		操作可否
	レコードセットの編集	可
	レコードセットの削除	可
	ゾーンのコメントの編集	可
Managed Firewall / Managed UTM		
	状態確認	可
	デバイスの作成	
	シングル構成デバイスの作成	否
	HA 構成デバイスの作成	否
	デバイスのメニュー変更/プラン変更	
	シングル構成デバイスのメニュー変更/プラン変更	否
	HA 構成デバイスのメニュー変更/プラン変更	否
	デバイスの削除	
	シングル構成デバイスの削除	否
	HA 構成デバイスの削除	否
	デバイスの停止・起動	可
	インタフェースの設定	
	シングル構成のインタフェース設定	否
	HA 構成のインタフェース設定	否
	ルーティングの設定	
	ルーティング設定	否
	オブジェクトの設定	
	アドレスオブジェクトの設定	否
	アドレスグループの設定	否
	Destination NAT の設定	否
	Source NAT の設定	否
	サービスオブジェクトの設定	否
	サービスグループの設定	否
	セキュリティプロファイルの設定	
	Antivirus (アンチウイルス機能のプロファイル)	可
	Web Filter (ウェブフィルター機能のプロファイル)	可
	Spam Filter (スパムフィルター機能のプロファイル)	可
	Scan Ports (スキャン対象ポート)	可
	ファイアウォールポリシーの設定	否 <sup>※3</sup>
	お客様管理 syslog サーバーへのログ送信設定	否
	タイムゾーンの設定	否
	セキュリティインシデントレポートの通知設定	可
	ログ取得	可
Managed WAF		
	状態確認	可
	デバイスの作成	否
	プラン変更	可

操作項目		操作可否
デバイスの削除		否
インタフェースの設定		否
ルーティング設定		可
サーバー証明書、中間 CA 証明書の設定		可
オブジェクトの設定		
リアルサーバーの設定		可
バーチャルサーバーの設定		可
カスタムサービスの設定		可
ポリシーとプロファイルの設定		
Dos プロテクションの設定		可
ファイルアップロード制限の設定		可
IP アドレスリストの設定		可
シグネチャプロファイルの設定		可
Web プロテクションプロファイルの設定		可
サーバーポリシーの設定		可
お客様管理 syslog サーバーへのログ送信設定		否
タイムゾーンの設定		可
セキュリティインシデントレポートの通知設定		可
Managed Anti-Virus、Managed Virtual Patch、Managed Host-based Security Package		
Order		否
Operation		外部公開セグメントのみ可 <sup>※4</sup>

※表に記載のないポータル操作も行わないでください。

※1 サーバーインスタンス/ファイアウォール/ロードバランサーのリストアを行う場合は、リストア元と同じインスタンス名（ホスト名）、IP アドレスでリストアしてください。

※2 また、システムリストア後に、リストア前後のサーバーインスタンス/ファイアウォール/ロードバランサー両方が存在しない状態としてください。

※3 Managed UTM における、作成済ファイアウォールポリシーへのセキュリティプロファイル項目の設定は可能です。

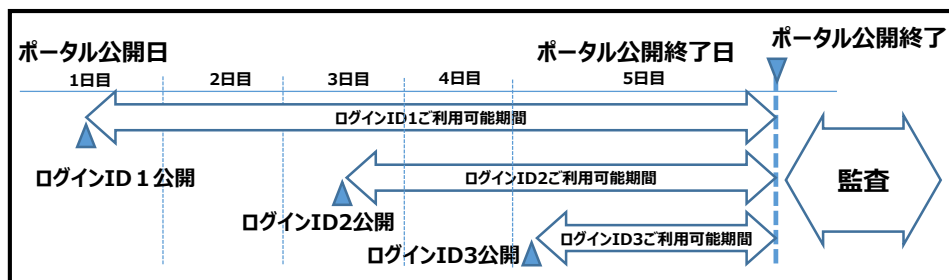
※4 外部公開セグメントのみ導入可能です。ご利用にあたり、事前に J-LIS へのプロトコル申請が必要となります。

※5 カスタムメーターはご利用いただけません。

※6 セキュリティグループでのアクセス制御結果はログとして記録されません。そのため、LGWAN 接続機能をご利用のお客様は本メニューをご利用いただけますが、IP アドレス/ポート/プロトコルレベルでの必要通信のみに絞ったアクセス制御は Managed Firewall/Managed UTM を用いて実施いただく必要がございます。尚、本メニューに関するポータル操作代行作業は承っていませんので、ポータル公開にてご利用ください。

**重要**

- ポータルのご利用のご依頼時に公開用ログイン ID を指定いただく必要がございます。公開用ログイン ID は、ポータルのご利用までにご用意ください。
- ポータル公開の終了後の監査や是正、是正後の再監査が完了していない場合は、新たにポータルをご利用いただくことはできません。
- ポータルの公開期間中に別のログイン ID にて追加でポータルをご利用いただくことは可能です。ただし、ポータル公開期間の延伸は行われません。



---

#### 3.2.7.4. ポータル公開後の監査、是正

ポータル公開期間の完了から 2 営業日以内に弊社にて監査を実施し、結果を報告いたします。

監査では、ポータル公開期間中に以下に記載した事項の実施有無を確認いたします。

- ・サーバーインスタンスなどのリソース追加や既存リソースの削除
- ・テナント内のサーバーインスタンスや Managed Firewall など全てのリソースのインスタンス名（ホスト名）、IP アドレス、接続するロジカルネットワークの変更によるネットワーク接続構成の変更
- ・Managed Firewall/UTM/WAF の許可していない設定変更
- ・ベアメタルサーバー、ホスト型セキュリティメニューの利用
- ・テナント間接続の追加、削除
- ・リージョン間接続の設定変更

上記にいずれかに該当する事項を検出した場合、監査結果として是正依頼を通知いたします。

お客様にて、監査で検出した事項に該当する変更をポータル公開前の状態へ復旧してください。

弊社からの是正依頼の通知より 3 営業日以内に是正完了および完了通知をご連絡してください。

##### 重要

- お客様への是正依頼時に、ポータルを再度ご利用いただける状態にいたしますので、是正のためのポータル利用の再申請をしていただく必要はありません。
- 是正後の再監査で、指摘事項の復旧が確認できない場合、あるいは期限までにお客様からの是正完了受領を確認できなかった場合は、お客様のテナントと LGWAN との接続を切断させていただきます。なお、新たなポータルのご利用やポータル操作代行作業などもご依頼いただくことができなくなります。

---

## 3.3. SINET 接続機能

### 3.3.1. SINET 接続

SINET 接続機能は、国立情報学研究所（以下、NII）が運営する学術情報ネットワーク（以下、SINET）と本サービスの基盤の接続を行うメニューです。SINET を経由して、本サービスを利用したい大学、研究機関向けのメニューです。本メニューは一部のリージョンでのみご利用可能です。本メニューをご利用可能なリージョンは「表 1-3 メニューラインナップ(ネットワーク機能)」でご確認ください。

メモ

- 本メニューは、SINET の「クラウド接続サービス」で利用可能なクラウドサービスです。
- 本メニューで接続可能な SINET ネットワークは、SINET6 となります。
- 本メニューは、SINET L2VPN 利用による接続のみ対応しています。L3 接続には対応していません。

#### 3.3.1.1. 利用できる機能

SINET 接続は、以下の機能を提供します。

表 3-24 SINET 接続で提供する機能

機能		概要
1	SINET 接続ネットワークの提供	本サービスの基盤と SINET を接続するネットワークを提供します。

### 3.3.1.2. サービス提供範囲

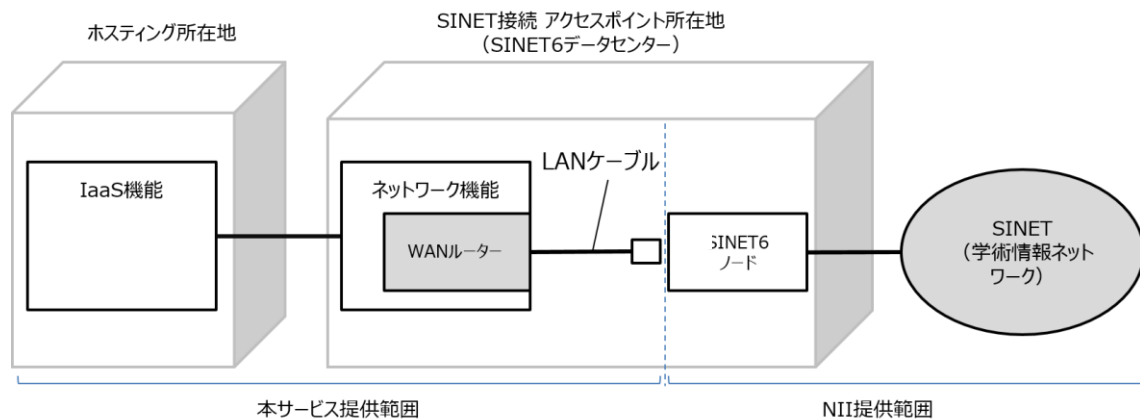


図 3-14 SINET 接続におけるサービス提供範囲

メモ

- SINET 接続ネットワークは、ユーザーごとのアクセス速度（帯域）を最大 100Mbps までとするポリシーでユーザーを収容しています。なお、運用状況により速度を変更させていただく場合がございます。

重要

- 提供する基盤機器のうち、SINET6 ノードと WAN ルーターを接続する基盤機器は冗長化されていません。

### 3.3.1.3. SINET 接続ネットワークの提供

SINET 接続では、お客様テナントのロジカルネットワークと SINET を接続するための SINET 接続ネットワークを提供します。

SINET 接続ネットワークのアクセス速度（帯域）は 100Mbps ベストエフォートです。なお、運用状況により速度を変更させていただく場合がございます。

SINET 接続では、SINET と本サービスの基盤間の通信を、IEEE802.1q の規格に準拠する VLAN タグで論理分割します。SINET 接続ネットワークは VLAN 単位で提供します。

表 3-25 SINET 接続ネットワークの提供単位

	機能	提供単位	提供上限値
1	SINET 接続ネットワーク	1VLAN	32VLAN

メモ

- SINET 接続の 1 接続に対し、1VLAN の設定が可能です。
- 2VLAN 以上設定したい場合は、SINET 接続に必要な VLAN 数分申し込みください。
- 提供上限値は、ユーザーネットワーク接続、LGWAN 接続、SINET 接続の合計接続数に対する上限値となります。

重要

- SINET 接続ネットワークは、お客様のシステム環境や回線の混雑状況などにより伝送速度が変化するベストエフォート型サービスです。実際の伝送速度は、他のユーザーの利用状況や設備状況などにより異なります。伝送速度を保証するサービスではありません。
- 接続機器の収容状況によっては、提供上限まで提供できない場合があります。
- SINET 接続ネットワーク（VLAN）を追加する際、接続機器の収容状況によっては、本サービスへの接続を切断する工事を伴う場合があります。
- あらかじめ複数の SINET 接続ネットワーク（VLAN）を利用する予定のあるお客様は、新規ご契約の際に、SINET 接続を必要 VLAN 数分ご契約されることをお勧めします。
- NII に対する SINET 利用/接続申請は、別途お客様で実施する必要があります。
- SINET 接続の設定は、提供機関（弊社）側での設定後、加入機関（お客様）側での設定を実施した後、サービス提供の流れとなります（※）。  
このうち、提供機関（弊社）側の設定が完了した日程が開通日となります。  
※[https://www.sinet.ad.jp/service\\_provider/service\\_providers\\_start](https://www.sinet.ad.jp/service_provider/service_providers_start)

## ① 接続構成

SINET 接続ネットワークは、「WAN ルーター」と「VPN 接続ゲートウェイ」あるいは「Flexible InterConnect 接続ゲートウェイ（以下、「FIC 接続ゲートウェイ」とします。）」を経由する構成となっています。

SINET 接続をご利用時の構成を下図に示します。

メモ

- VPN 接続ゲートウェイおよび FIC 接続ゲートウェイは、冗長化された物理機器（装置、配線）で構築されています。
- VPN 接続ゲートウェイおよび FIC 接続ゲートウェイは、お客様のシステム環境や回線の混雑状況などにより伝送速度や転送遅延(Round Trip Time)が変化するベストエフォート型サービスです。
- VPN 接続ゲートウェイは、2022 年 11 月 31 日新規提供終了（2023 年 3 月 31 日 提供終了予定）となります。
- FIC 接続ゲートウェイは、2022 年 12 月 1 日より提供開始します。2022 年 12 月 1 日以降に本メニューを新規開通するお客様は、FIC 接続ゲートウェイでの接続となります。
- FIC 接続ゲートウェイがモニタリングメニューの対象外であることが、VPN 接続ゲートウェイと FIC 接続ゲートウェイの提供機能差分となります。

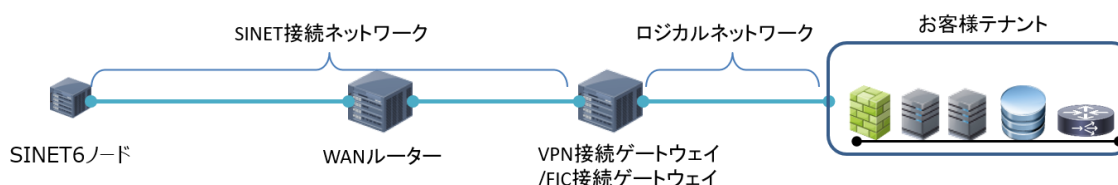


図 3-15 SINET 接続の構成図

## ② WAN ルーター

SINET と本サービス間の通信を可能とするための、VLAN タグ設定機能ならびにスタティックルーティング機能を提供する機器です。WAN ルーターの設定は弊社にて行います。お客様にて WAN ルーターの設定を変更することはできません。

表 3-26 SINET 接続ネットワーク WAN ルーター設定項目

項目	IP アドレスブロック プレフィックス長	スタティックルーティング 設定上限値
WAN ルーターのルーティング設定	/32~/1	40 経路



### ③ VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイ

WAN ルーターと、お客様テナントを接続するゲートウェイ機能を提供する機器です。

WAN ルーターからお客様テナントへ通信するために、お客様のポータル操作によりスタティックルーティングを設定できます。

表 3-27 SINET 接続ネットワーク VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイ設定項目

項目	IP アドレスブロック プレフィックス長	スタティックルーティング 設定上限値
VPN 接続ゲートウェイ/FIC 接続ゲートウェイのルーティング設定	/32~/1	32 経路

**重要**

● SINET 接続ネットワーク 1 つの利用につき、ロジカルネットワークが 1 つ必要です。

#### 3.3.1.4. 提供単位

表 3-28 SINET 接続メニューの提供単位

提供最小値	提供最大値	増設単位
1[接続]	32[接続] <sup>※1</sup>	1[接続]

※1 ユーザーネットワーク接続、LGWAN 接続、SINET 接続の合計接続数に対する上限値となります。

---

### 3.4. インターネット接続ゲートウェイ機能

メニューの詳細は、「SDPF 提供サービス一覧」の「[インターネット接続ゲートウェイ](#)」のページをご確認ください。

### 3.5. テナント間接続機能

メニューの詳細は、「SDPF 提供サービス一覧」の「[テナント間接続](#)」のページをご確認ください。

**メモ**

- 本メニューのご利用には、接続元テナントから接続先テナントに対して、ユーザー向けポータルより接続の要求を行い、接続先テナントで接続要求に対する許可操作を行います。
- 接続先テナントでの許可操作は接続先テナントご契約のお客様からの申込により、弊社にて代行（有料）いたします。

### 3.6. ロジカルネットワーク機能

メニューの詳細は、「SDPF 提供サービス一覧」の「[ロジカルネットワーク](#)」のページをご確認ください。

### 3.7. ファイアウォール機能

メニューの詳細は、「SDPF 提供サービス一覧」の「[ファイアウォール](#)」のページをご確認ください。

### 3.8. ロードバランサー機能

メニューの詳細は、「SDPF 提供サービス一覧」の「[ロードバランサー](#)」のページをご確認ください。

### 3.9. Managed Load Balancer 機能

メニューの詳細は、「SDPF 提供サービス一覧」の「[Managed Load Balancer](#)」のページをご確認ください。

### 3.10. セキュリティグループ機能

メニューの詳細は、「SDPF 提供サービス一覧」の「[セキュリティグループ](#)」のページをご確認ください。

**重要**

- 本メニューでのアクセス制御結果はログとして記録されません。そのため、LGWAN 接続機能をご利用のお客様は本メニューをご利用いただけますが、IP アドレス/ポート/プロトコルレベルでの必要通信のみに絞ったアクセス制御は Managed Firewall/Managed UTM を用いて実施いただく必要がございます。
- 本メニューに関するポータル操作代行作業は承っていませんので、ポータル公開にてご利用ください。

### 3.11. コロケーション接続機能

メニューの詳細は、「SDPF 提供サービス一覧」の「[コロケーション接続](#)」のページをご確認ください。

**重要**

- 本メニューのお申込前に本サービスのご契約、及び別途コロケーションラックのご契約が必要となります。

### 3.12. リージョン間接続機能

メニューの詳細は、「SDPF 提供サービス一覧」の「[リージョン間接続](#)」のページをご確認ください。

**重要**

- 本メニューのお申込前に本サービスのご契約いただき、接続するリージョンへのテナント作成を行っていただく必要があります。
  - 本メニューは、申込書によるお申し込みとなります。
  - 本メニューの標準納期は長期間になるため、本メニューのお申し込みの際に、他のメニューを合わせてお申し込みいただくことはお控えください。
  - 弊社側工事日時をご指定いただくことはできません。弊社側工事のご利用開始のご希望日までに実施いたします。
  - 工事によるお客様影響はございません。
  - お申込書の記載不備などによりお申込書の修正、再提出いただく際に、ご利用開始日を変更いただく場合がございます。
  - 本メニューで提供するリソース（リージョン間接続ゲートウェイ）がご指定いただいた開通日前に出現します。本メニュー提供までのすべての工事が完了していない場合がありますので、開通日以前のご利用はお控えください。
  - 本メニューをご利用中のお客様が、本サービスの廃止を行う際には、本メニューの削除のお申し込みもお願いいたします。
- なお、本メニューの削除工事が完了せずとも本サービスの廃止は可能です。

## 4. ユーザー向けポータル

お客様がサービスを管理するためのユーザー向けポータルが提供されます。ユーザー向けポータルを利用すると、サーバーインスタンの作成やネットワーク環境の設定をリアルタイムで実施することができます。

### メモ

- ユーザー向けポータルは、Web ブラウザで HTTPS 通信を利用してアクセスします。ユーザー向けポータルにアクセスするには、開通時にご案内している ID とパスワードによる認証が必要です。
- お客様へは一般ユーザー権限の ID を提供します。一般ユーザーでは、以下 URL 記載の管理ユーザー権限の操作は行えません。また、チケットシステムをご利用いただけません。  
<https://sdpf.ntt.com/about-sss/>

### 重要

- 「3.2 LGWAN 接続機能」を利用のお客様は、ユーザー向けポータルをお客様が直接操作することはできません。ユーザー向けポータル操作は、お客様より個別工事(有償、実費請求)を申し込みいただき、弊社で代行します。詳細は「3.2.5 LGWAN ユーザー向けポータル操作代行」をご参照ください。
- サーバーインスタンの電源断/再起動の操作およびユーザー向けポータルで取得可能な各種リソース情報取得については無償で代行します。
  - ・サーバーインスタンの起動作業およびサーバーインスタンス操作不可時の停止作業については「故障受付窓口」へ電話にてご連絡願います。
  - ・サーバーインスタンス停止、起動動作の正常性は保証いたしかねます。また、サーバーインスタンス停止時の状況によりファイルシステムなどの破損が発生する場合があります。このような事象発生時の対策のため、サーバーインスタンスのバックアップを取得いただくことを推奨します。
  - ・各種リソース情報取得依頼については「ドキュメントダウンロードページ」(URL: <https://business.ntt-east.co.jp/service/serverhosting/documents.html>) に掲載の「LGWAN 作業依頼シート」をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、メールにて「サービス問合せ受付窓口」へ連絡願います。ご指定の期間のグラフを翌営業日以降に準備が整い次第送付します。(取得したグラフは暗号化されたファイルで送付します。)  
取得可能情報については下記のサイトをご確認ください。  
<https://sdpf.ntt.com/services/monitoring/>  
※ 申し訳ございませんが月 1 回までのご対応とさせていただきます。
  - ・緊急時 (サーバーインスタンスの動きが遅い) における各種リソース情報取得依頼については「故障受付窓口」へメールでご連絡いただいた上で電話でも連絡願います。  
ご指定のサーバーインスタンスの「CPU 使用率」、「ディスク読取バイト数」、「ディスク書込バイト数」、「ネットワーク受信バイト数」、「ネットワーク送信バイト数」について過去 24 時間のグラフを準備が整い次第、受信したメールへ返信します。(取得したグラフは暗号化されたファイルで送付します。)
- なお、ご利用にあたっての制限はございますが、別途お申込みいただくことでポータルはご利用いただけます。詳しくは、「3.2.7 LGWAN ユーザー向けポータル公開」をご参照ください。

## 4.1. 利用できる機能

ユーザー向けポータルでは以下の機能が利用できます。

表 4-1 ユーザー向けポータルで利用可能な機能

画面	機能	概要
SDPF ポータル	ワークスペース管理	操作対象のワークスペースを選択することができます。
	プロフィール管理	自分のログイン ID 等のプロフィール情報を確認することができます。また、API 鍵の情報もここで確認することができます。
クラウドコンピューティングコントロールパネル	各メニューのリソース管理	各メニューのリソースのご利用状況の確認、及びリソースの追加/削除/変更ができます。テナント単位に GUI で管理します。ここでは、ベアメタルサーバー、サーバーインスタンス、イメージ管理、ストレージ、ネットワークの各リソースを操作することができます。
モニタリングコントロールパネル	各メニューのリソースの死活監視、パフォーマンス管理	各メニューの正常性・パフォーマンスが評価できるように、各種リソースの情報（メーター）を収集し、レポートする機能を提供します。
DNS コントロールパネル	ゾーン作成/削除、レコードセット作成/削除	DNS へのゾーンおよびゾーン内のレコードセットの作成・編集・削除を行うことができます。
セキュリティコントロールパネル	セキュリティメニューの申込、管理	セキュリティメニューの申込、設定変更、管理を行うことができます。

### 重要

- ログイン時の二要素認証機能は提供いたしません。
- 「1.2 メニューラインナップ」に記載以外の本サービスで提供しないメニューが表示される場合があります。
- セキュリティ強化のため、ユーザー向けポータルへの IP アドレスによるアクセス制限を設定することを推奨します。ユーザー向けポータルの IP アクセス制限の設定には、お申込が必要です。

---

## 4.2.ユーザー向けポータル利用条件

表 4-2 ユーザー向けポータル利用条件

項目	内容
対応ブラウザ	Mozilla FireFox 最新版 Google Chrome 最新版
対応言語	日本語、英語（ブラウザの言語設定によって自動選択）

### 4.3.ユーザー向けポータルへのログイン

以下のログインポータルをご用意しています。開通時にお知らせした URL、ログイン ID とパスワードでログインしてください。

※画面は、イメージです。変更となる場合があります。

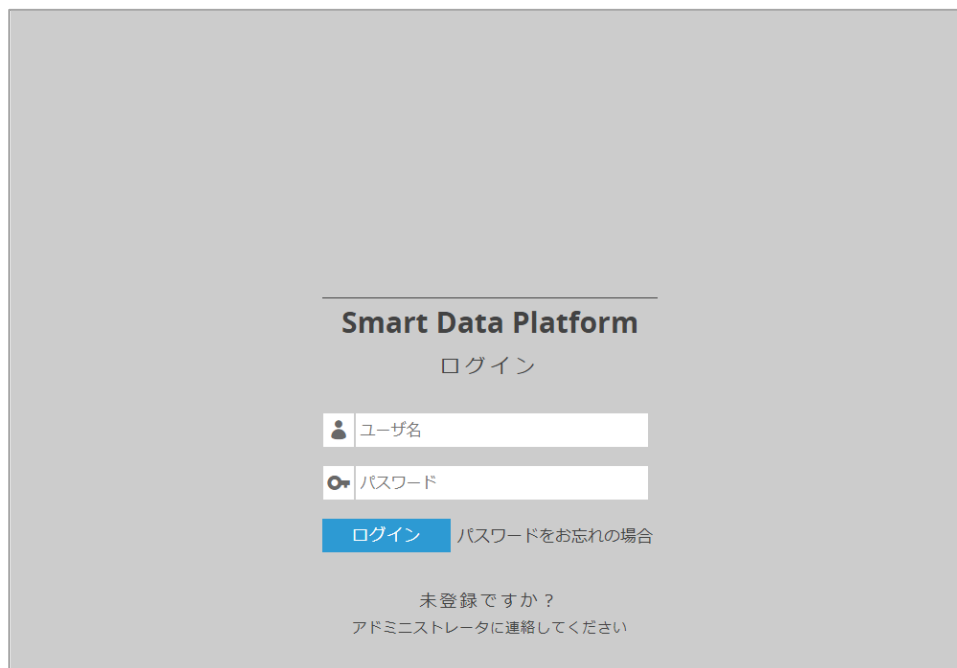


図 4-1 ログインポータル画面

ログイン後の画面で、下図のようにプルダウンメニューから「Smart Data Platform」を選択します。



図 4-2 ログイン後画面



選択すると、下図のような SDPF のダッシュボード画面が表示されますので「ワークスペースを選択」を選択します。※クッキーの保存状況等により本画面および次画面は表示されない場合があります。



図 4-3 SDPF ダッシュボード画面

ワークスペースを選択します。

※表示されるワークスペースはひとつのみです。



図 4-4 ワークスペース一覧画面

「利用可能なメニューを見る」を選択します。



図 4-5 ワークスペース画面

ご利用のメニューをひとつ選択します。



図 4-6 メガポータル画面

ご利用のリージョンを選択してください。

※利用するテナント ID 欄に「※選択すると作成されます」とあるリージョンを選択すると選択したリージョン上にテナントが作成されます。テナントのみ作成した状態では、課金は発生しません。

ダッシュボード > ご利用地域選択

### ご利用地域選択

指定したメニューを利用する地域を選択してください。

指定したメニュー | クラウド/サーバー > 仮想サーバー > サーバーインスタンス

リージョン	利用するテナントID	
jp1リージョン(日本/東日本)	3f71c9f5fcfe4d37ad6e9e468adc3418	<a href="#">選択</a>
jp6リージョン(日本/西日本)	- ※選択すると作成されます	<a href="#">選択</a>
jp7リージョン(日本/東日本)	- ※選択すると作成されます	<a href="#">選択</a>

図 4-7 リージョン選択画面

ご利用のテナントへログインします。

※図 4-7 で選択したメニューの画面へ遷移します。左メニューの「テナント情報」のクリックでテナントの TOP 画面へ遷移します。

テナント情報

サーバー

- ベアメタルサーバー
- サーバーリスト
- リモートコンソールアクセス
- 仮想サーバー
- インスタンス**
- ボリューム
- イメージ保存領域

# インスタンス

インスタンス    キーペア

名前	イメージ名	IP アドレス	ゾーン/グループ
表			

図 4-8 テナント画面

---

## 4.4.API

ユーザー向けポータルを使用せず、ソフトウェアから本サービスの各種リソースを管理するための API インタフェース機能(以下、「API」とします。)がご利用可能です。

API は、デフォルトでは無効化されていますので、ご利用されたい場合は、サービス問い合わせ受付窓口へ申請いただく必要がございます。

セキュリティ強化のため、API へアクセスするお客様拠点のグローバル IP アドレスを申請時に指定いただく必要があります。

### メモ

- メニューごとの API 仕様は、各メニューの詳細ページの「API リファレンス」でご確認ください。

### 重要

- 申請いただいたグローバル IP アドレス以外から API へアクセスいただくことはできません。
- アクセス元グローバル IP アドレスは、API へアクセスするユーザーで共通となります。
- API による管理機能へのアクセス、IAM を用いた API 権限管理機能は、ご利用いただけません。
- LGWAN 接続機能をご利用のお客様は、API をご利用いただけません。API 利用を必須とするモニタリング機能のカスタムメーター等もご利用いただけませんのでご注意ください。

## 5. サービスの保守運用

高度な技術を持ったスタッフが安定運用をサポートします。

### 5.1. 問い合わせ窓口

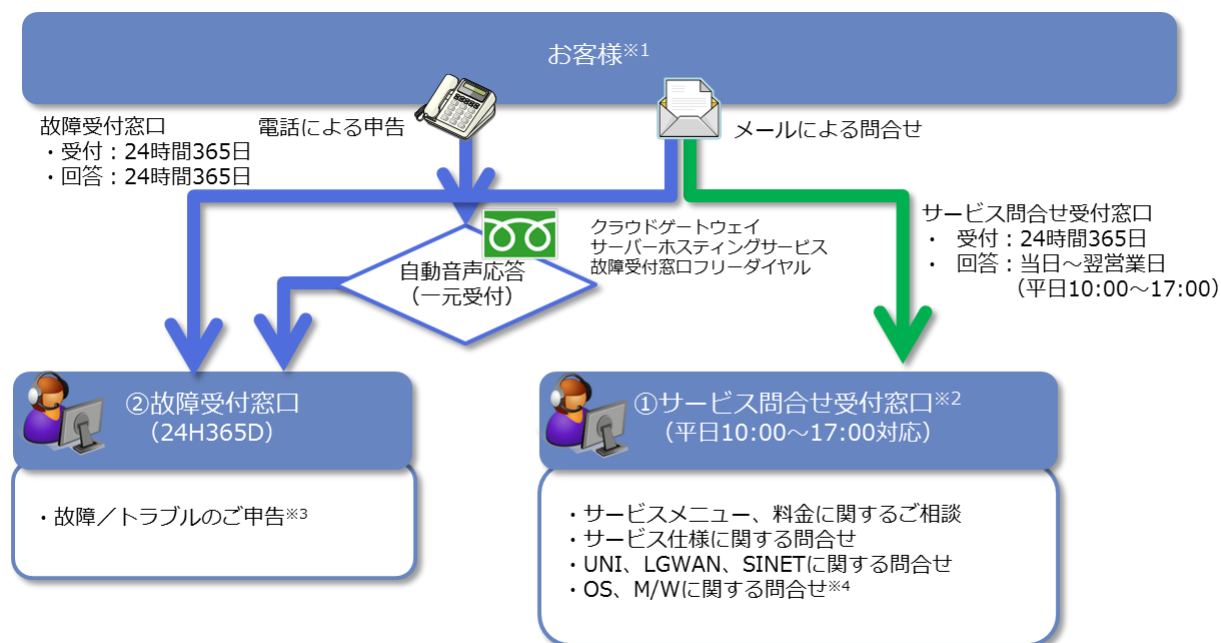


図 5-1 問い合わせ窓口

※1 「ご契約頂いているお客様の情報システム担当者様」や「ベンダ等の保守担当者様」等。

※2 サービス問合せの受付は 24 時間で、回答は土日・祝日および年末年始の 12/29～1/3 を除く、平日 10：00～17:00 となります(受付時間は予告なく変更の可能性がございます)。

※3 お客様にてお持込みのアプリケーションに関するお問い合わせは対象外です。

(お客様ご自身でベンダ様等にお問い合わせください。)

※4 OS、MW のお問合せは『表 5-1 OS、MW お問い合わせ対応内容』の対応のみ実施します。

なお、NTT コミュニケーションズ社の以下サイトの各メニューのページにてよくあるご質問とその回答を掲載しておりますので、お問い合わせの前にご一読をお願いいたします。

(<https://sdpf.ntt.com/services/>)

表 5-1 OS、MW お問合わせ対応内容

カテゴリ	項目	対応内容
OS	Windows	下記サイトの「サポート方法」記載内容 <sup>※1</sup> <a href="https://ecl.ntt.com/documents/service-descriptions/OS/rsts/windows.html">https://ecl.ntt.com/documents/service-descriptions/OS/rsts/windows.html</a>
	RedhatLinux	下記サイトの「サポート方法」記載内容 <sup>※1</sup> <a href="https://ecl.ntt.com/documents/service-descriptions/OS/rsts/rhel.html#id39">https://ecl.ntt.com/documents/service-descriptions/OS/rsts/rhel.html#id39</a>
	無料 OS (CentOS/Rocky Linux/Ubuntu) 、および BYOL 前提のオフィシャルイメージテンプレート	下記サイトの「サポート範囲」記載内容 <a href="https://sdpf.ntt.com/services/docs/os/service-descriptions/rsts/os_common.html">https://sdpf.ntt.com/services/docs/os/service-descriptions/rsts/os_common.html</a>
MW	Oracle	下記サイトのサービス詳細(サービス説明書)ページの「サポート範囲」記載内容 <sup>※2</sup> <a href="https://sdpf.ntt.com/services/oracle/">https://sdpf.ntt.com/services/oracle/</a>
	SQL Server	下記サイトのサービス詳細(サービス説明書)ページの「サポート方法」記載内容 <sup>※1</sup> <a href="https://sdpf.ntt.com/services/sql-server/">https://sdpf.ntt.com/services/sql-server/</a>
	Hulft	下記サイトのサービス詳細(サービス説明書)ページの「サポート内容」、「サポート方法」記載内容 <a href="https://sdpf.ntt.com/services/hulft/">https://sdpf.ntt.com/services/hulft/</a> (注) 製品サポートベンダのサポート窓口によるサポートとなります <sup>※3</sup>
	Windows Server Remote Desktop Services SAL	下記サイトのサービス詳細(サービス説明書)ページの「サポート方法」記載内容 <sup>※1</sup> <a href="https://sdpf.ntt.com/services/rds-sal/">https://sdpf.ntt.com/services/rds-sal/</a>
	Arcserve	下記サイトのサービス詳細(サービス説明書)ページの「サポート範囲」記載内容 <a href="https://sdpf.ntt.com/services/arcserve-backup/">https://sdpf.ntt.com/services/arcserve-backup/</a> (注) 製品サポートベンダのサポート窓口によるサポートとなります <sup>※3</sup>

※1 お客さまが直面したインストール、セットアップ、基本的な機能に関する不具合などへの対処方法について、お客さまからの依頼に対して、弊社はサポート（調査、支援、アドバイス）を行いません

---

※2 下記内容についてはサポートに含まれません。

- お客様システムへ直接ログインした不具合調査・不具合解消作業
- お客様システムの設計・構築作業。
- お客様アプリケーション、スクリプトの開発。(※Oracle 製品にあらかじめ含まれるプログラムの修正以外に、機能拡張を目的として作業は出来ません。)
- Oracle 製品以外のアプリケーションに関連する対応。
- クラウドゲートウェイサーバーホスティングサービス対応時間外の対応。対応期限を指定しての対応。(※あくまでも回答は、ベストエフォートとなります。可能な限り迅速な対応を行います  
が、問い合わせが集中した場合や Oracle サポートの回答遅延などによりご期待に沿えない  
場合があります。)

※3 お客様から直接製品サポートベンダのサポート窓口へお問合せいただけます。

サポート窓口の問合せ先は当該サービス開通案内にてご案内いたします。

### 5.1.1. 問合せ窓口種別

以下の窓口からお問合わせください。

表 5-2 利用可能窓口

窓口	窓口での対応内容
故障受付窓口	・故障/トラブルのご申告 ・LGWAN 接続を利用のお客様からのサーバーインスタンスの起動のご依頼
サービス問合わせ受付窓口	・サービスメニューに関するご相談 ・サービス仕様に関する問合わせ ・UNI、LGWAN、SINET に関する問合わせ ・ポータルへの操作に対するお問い合わせ ・OS、ミドルウェアに関する問合わせ

**重要**

- サーバーインスタンス停止、起動動作の正常性は保証いたしかねます。また、サーバーインスタンス停止時の状況によりファイルシステムなどの破損が発生する場合があります。このような事象発生時の対策のため、バックアップを取得いただくことを推奨します。

**メモ**

- 各窓口の情報は、サービス開通案内書を参照してください。
- ご利用される際は、開通時に通知される「お客様番号」が必要です。
- ご契約いただいているサービスの提供範囲外についてはお答えできません。
- 基盤側設備のログ調査に関するお問い合わせは、故障受付窓口にて対応いたします。なおログ自体の提供は行っていません。



## 5.1.2. 保守運用体制

保守運用の全体イメージは以下のとおりです。

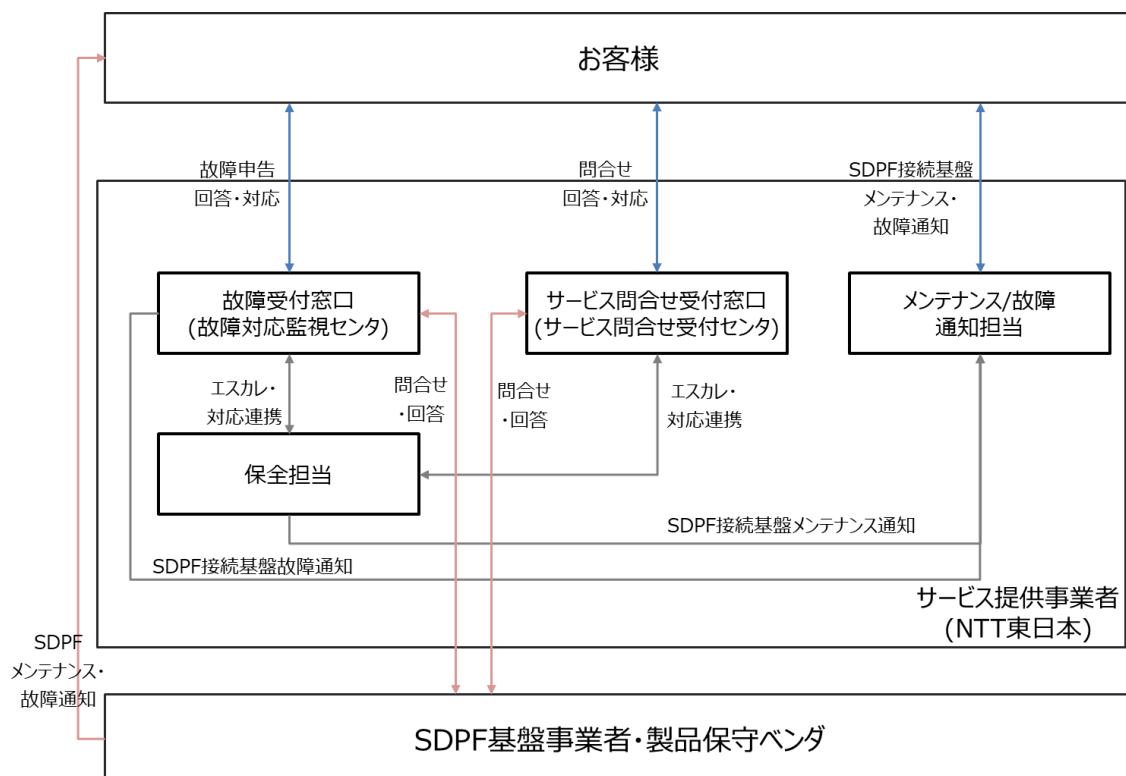


図 5-2 保守運用体制

---

### 5.1.3. お問い合わせ時確認内容

お客さまのお問い合わせを早急に調査、解決するため必要な内容を、サービスメニュー毎に設定しております。サービスメニュー毎の確認項目について以下に説明いたします。

下記にないサービスメニューについてはお問い合わせいただく内容を具体的にご連絡ください。

なお、本サービスを提供する基盤設備に対する調査が必要となった場合は、数日それ相当のお時間を要することがございますのでご了承ください。

#### 5.1.3.1. 各サービス共通

- ・ テナント ID (LGWAN 申込みのお客様は契約 ID)
- ・ (不具合の場合)事象が発生した日時
- ・ (不具合の場合)これまでの動作実績の有無
- ・ (不具合の場合)現在も発生中か否か

#### 5.1.3.2. API

- ・ 該当の API エンドポイントと接続できているか否か
- ・ エラーログ及びエラーコード

#### 5.1.3.3. Enterprise Cloud CLI

- ・ コマンド実行時の詳細なログ  
実行するコマンドの引数に `-debug` オプションを指定することで、コマンド実行時の詳細なログが表示されます  
[実行例: インスタンスの一覧取得] `ecl -debug compute server list`

#### 5.1.3.4. 管理機能

- ・ 不具合が確認できる画面キャプチャ
- ・ 不具合を確認された際のアカウントに関する情報

#### 5.1.3.5. 共通機能ゲートウェイ

- ・ 名前及び ID
- ・ 共通機能プール ID 名及び共通機能プール名
- ・ エラーメッセージもしくはステータスの状況

---

#### 5.1.3.6. ベアメタルサーバー

- ・ サーバー名及び ID
- ・ イメージ名
- ・ エラーメッセージ

リモートコンソールアクセスについては以下も確認願います。

- ・ 他のベアメタルサーバーに対しても同様の事象が発生するか否か（可能であればご確認願います）
- ・ ご利用されている接続環境に関する情報（インターネット経由か VPN 経由、プロキシ利用の有無）
- ・ 使用されているブラウザの名称、バージョン

#### 5.1.3.7. サーバーインスタンス

- ・ インスタンス名及び ID
- ・ ボリューム名及び ID
- ・ インスタンスのブートソース（イメージ名/スナップショット名/ボリューム名）
- ・ エラーメッセージ

リモートコンソールアクセスについては以下も確認願います。

- ・ 他のインスタンスに対しても同様の事象が発生するか否か（可能であればご確認願います）
- ・ ご利用されている接続環境に関する情報（インターネット経由か VPN 経由、プロキシ利用の有無）
- ・ 使用されているブラウザの名称、バージョン

スナップショットについては以下も確認願います。

- ・ インスタンスを停止した日時
- ・ スナップショットの作成を開始した日時
- ・ エラーメッセージもしくはステータスの状況

---

#### 5.1.3.8. イメージ保存管理

- ・ イメージ名
- ・ ご利用されている接続環境に関する情報（インターネット経由か VPN 経由、プロキシ利用の有無）
- ・ エラーメッセージもしくはステータスの状況

#### 5.1.3.9. ブロックストレージ および ファイルストレージ

- ・ 名前及び ID
- ・ エラーメッセージ

#### 5.1.3.10. ロジカルネットワーク

NW の疎通に関するお問い合わせの場合は、どの機器からどの機器までの疎通に関するお問い合わせなのか、また中継している機器は何か、明確に記載ください。

[記入例]

お客様 PC -> (インターネット) -> InternetGW(.1) -> InternetSeg(222.222.222.0/28) -> (.14) Firewall (.1)  
-> ServerSeg(192.168.0.0/24) -> (.2)VM

#### 5.1.3.11. インターネット接続ゲートウェイ

- ・ 名前及び ID
- ・ インターネットサービス名及びインターネットサービス ID
- ・ エラーメッセージもしくはステータスの状況

#### 5.1.3.12. ファイアウォール および ロードバランサー

- ・ 名前及び ID
- ・ エラーメッセージもしくはステータスの状況

#### 5.1.3.13. VPN 接続

- ・ 名前及び ID
- ・ エラーメッセージもしくはステータスの状況

---

#### 5.1.3.14. モニタリング

- ・ 不具合が確認できるキャプチャ（添付頂きますようお願い致します）
- ・ 不具合を確認された際のアカウントに関する情報

---

## 5.2. 基盤設備監視体制

本サービスを構成する基盤設備は、弊社および NTT コミュニケーションズにて監視を実施します。

お客様に影響のある弊社のサービス用基盤設備に故障が発生した場合、影響の可能性のあるすべてのお客様に通知されます。なお、通知内容には詳細報告を含みません。

メモ

- お客様のご利用に影響がない部分的な故障などが発生した場合は、通知することなく保守作業を実施する場合があります。

### 5.3. 故障発生時の連絡

故障発生時には、お客様が申込時に登録されたメールアドレスへメールにて通知致します。

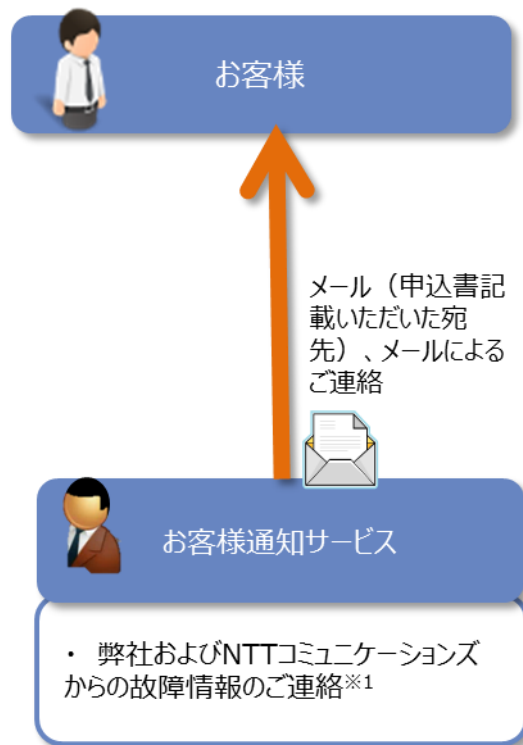


図 5-3 故障発生時のご連絡

※1 ■お客様サービス影響の発生が確認できた故障の場合、申込書に記載いただいた緊急連絡先へメールでご連絡いたします。

IaaS 機能の故障は NTT コミュニケーションズからお客様へ通知が送付されます。

ネットワーク機能の故障はメンテナンス／故障通知担当からお客様へ通知が送付されます。

（お客様回線については本サービスからの通知はされません）

（NTT コミュニケーションズからの通知は緊急連絡先以外のメールアドレスへも通知されます）

※2 ■お客様がポータル上で登録されているメールアドレスを変更した場合、NTT コミュニケーションズからは変更後のメールアドレスへメール送付されますが、弊社からは変更後のメールアドレスへはメール送付されません。

緊急連絡先メールアドレスの変更が必要な場合はユーザー変更を申請してください。

## 5.4. メンテナンスの案内

本サービスでは、お客様のシステムが継続して使用できるように、必要に応じて適宜メンテナンスを実施します。主なメンテナンス内容は、以下のとおりです。

- ・ セキュリティの脆弱性に対する対策実施
- ・ サーバーおよびネットワーク機器に関する保守作業および改善対応

メンテナンスを実施する場合、お客様通知サービスから、原則 14 営業日前(緊急時を除く)にメールで案内します。

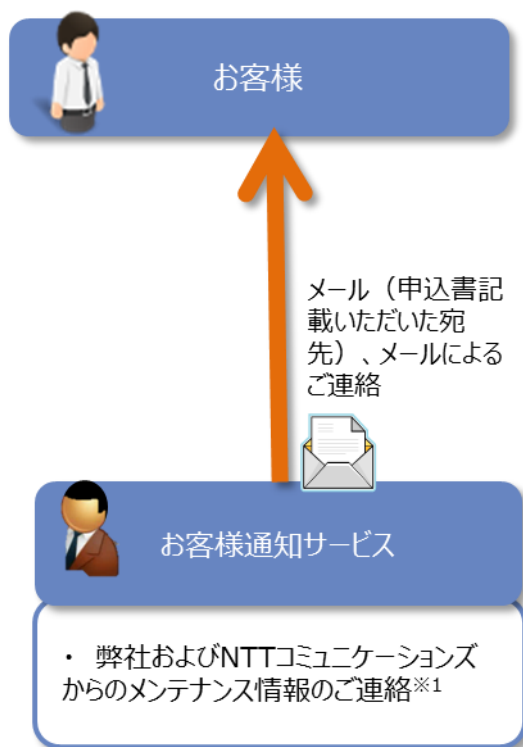


図 5-4 メンテナンス情報のご連絡

※1 ■お客様サービス影響が発生する可能性がある工事の場合、申込書に記載、ポータルに登録いただく緊急連絡先へメールでご連絡いたします。原則 14 営業日前に通知しますが、緊急時はその限りではございません。

IaaS 機能の故障は NTT コミュニケーションズからお客様へ通知が送付されます。

ネットワーク機能の故障はメンテナンス/故障通知担当からお客様へ通知が送付されます。

(お客様回線については本サービスからの通知はされません)

(NTT コミュニケーションズからの通知は緊急連絡先以外のメールアドレスへも通知されます)



- 
- ※2 ■お客様がポータル上で登録されているメールアドレスを変更した場合、NTT コミュニケーションズからは変更後のメールアドレスへメール送付されますが、弊社からは変更後のメールアドレスへはメール送付されません。
- 緊急連絡先メールアドレスの変更が必要な場合はユーザー変更を申請してください。
- ※3 ■毎週火曜日～水曜日 22:00～翌 6:00 (ただし、GUI/API のみの停止の場合は、20:00～翌 6:00)にサービスの品質を維持するために、定期的なメンテナンスを実施致します。

メモ

- メンテナンスの案内において、お客様システムの借用を依頼させていただく場合があります。

---

## 5.5. サポート情報

サービス 工事故障情報など本サービスに関するサポート情報は、以下サイトにてご確認ください。

<https://business.ntt-east.co.jp/support/serverhosting/>

また、IaaS 機能に関するお知らせ・リリース情報については、Smart Data Platform Knowledge Center サイトにてご確認ください。

<https://sdpf.ntt.com/news/>

---

## 5.6. 保守運用における制約事項

### 5.6.1. 故障対応

故障対応のため、やむを得ず 本サービス利用開始時の状態に戻す場合があります。

### 5.6.2. 平日/営業日の定義について

平日/営業日は、日本標準時（JST）に基づき、日本の法律に定められた祝休日および弊社が特に定めた年末年始（12/29～1/3）を除く月～金曜日を指します。

## 6. 申込

### 6.1. 申込方法

各メニューの申込方法は、以下のとおりです。

本サービスを利用する上で、契約が必須なメニュー、各メニューを契約するにあたり必須となる組合せ条件は利用規約をご確認ください。

(以下表中で「ポータル」は、「ユーザー向けポータル」を表します。)

表 6-1 各メニューの申込方法

カテゴリ	メニュー		申込方法	
サーバー	ベアメタルサーバー	ベアメタルサーバー	ポータル	
		リモートコンソールアクセス	ポータル	
		OS	CentOS	ポータル
			RedHat Enterprise Linux	ポータル
			Ubuntu	ポータル
			Windows Server	ポータル
	サーバーインスタンス	コンピュータ	ポータル	
		ボリューム	ポータル	
		OS	CentOS	ポータル
			RedHat Enterprise Linux	ポータル
			Rocky Linux	ポータル
			Ubuntu	ポータル
	Windows Server		ポータル	
	イメージ管理	プライベートテンプレート	ポータル	
		プライベート ISO	ポータル	
	vSphere		ポータル	
	Hyper-V		ポータル	
	ゲストイメージ	Red Hat Enterprise Linux	ポータル	
		vCenter Server	ポータル	
		Windows Server	ポータル	
ストレージ	ブロックストレージ	ポータル		
	ファイルストレージ	ポータル		

カテゴリ	メニュー			申込方法
ネットワーク 接続機能 (閉域)	閉域ネットワーク接続	ユーザーネットワーク 接続	CPE 非対応	申込書
			CPE 対応	申込書
			IP-IP トンネリング	申込書
	LGWAN 接続	IP アドレス接続	LGWAN 接続ネットワーク	申込書
			LGWAN IP アドレス	申込書
		トンネリング接続		申込書
	SINET 接続			申込書
ネットワーク 接続機能 (インターネ ット)	インターネット接続	インターネット接続	ベストエフォート	ポータル
			帯域確保	ポータル
			グローバル IP アドレス	ポータル
ネットワーク 付加機能	ロジカルネットワーク			ポータル
	ファイアウォール			ポータル
	ロードバランサー			ポータル
	Managed Load Balancer			ポータル
	テナント間接続			ポータル/ 申込書 <sup>※1</sup>
	コロケーション接続			申込書
	リージョン間接続			申込書
セキュリティ	Managed Firewall			ポータル
	Managed UTM			ポータル
	Managed WAF			ポータル
	Managed Anti-Virus			ポータル
	Managed Virtual Patch			ポータル
	Managed Host-based Security Package			ポータル
ミドルウェア	Oracle			ポータル
	SQL Server			ポータル
	HULFT			ポータル
	Windows Server Remote Desktop Services SAL			ポータル
	Arcserve Unified Data Protection			ポータル
	DNS			ポータル
	WebRTC			ポータル
ポータル	ユーザー向けポータル			申込書
	モニタリング			ポータル

---

※1 接続先テナントでの接続許可操作は、申込書でご依頼いただき、弊社にて代行操作を行います。  
お申込は、接続先テナントをご契約のお客様に限ります。

**重要**

- 「3.2 LGWAN 接続機能」を利用のお客様へは、ユーザー向けポータルの利用に制限があります。詳しくは、「3.2.5 LGWAN ユーザー向けポータル操作代行」を参照してください。なお、ご利用にあたっての制限はございますが、別途お申込みいただくことでポータルはご利用いただけます。詳しくは、「3.2.7 LGWAN ユーザー向けポータル公開」をご参照ください。